

# 厚労省研究事業の実態調査 (中間報告)

令和7年2月8日

株式会社インサイト

代表取締役

関原深



# 株式会社インサイト 事業内容

- 2007(H19)年9月創業:障害福祉分野に特化したコンサルティング
- ビジョン:障がいのある方・関わる方全てが幸せに暮らせる社会の創造

## <事業内容>

事業内容	事業概要	主要取引先
障害福祉経営 コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工賃向上・経営改善</li> <li>・地域福祉経営</li> <li>・ICT化支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉事業所(都道府県・市区町村等)</li> <li>・(社会福祉法人・NPO等)</li> </ul>
障害福祉に関する 調査研究・政策提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉に関する調査研究・政策提言</li> <li>・地域福祉計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官公庁(厚生労働省・農林水産省、都道府県・市等)</li> </ul>

**R6年度:**

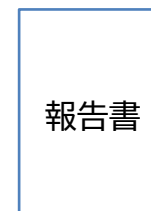
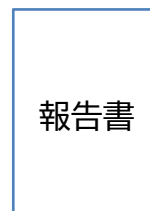
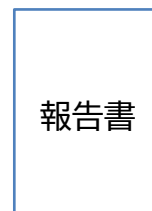
**厚労省推進事業:15就労、28オンライン研修**

**厚労省委託事業:就労選択支援モデル**

**農水省委託事業:農福連携モデル**

## <研究事業(厚労省・農水省)>

【R4:利用者】 【R4:ICT】 【R4・5:農福】 【R2・3:A会計】

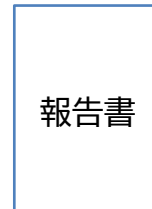


【R3:A型】

【R3:農福】

【R2:A型】

【R2:A型行政】



【R2:林・水福】 【H30:A型】

【H30:B型】 【H30・R元:ICT】



# 代表者略歴

関原 深(せきはら つかし)  
(株)インサイト代表取締役  
プリンシパル



特徴:総合

専門:経営戦略、マーケティング、会計、  
事業計画

前職の(株)三和総合研究所(現:三菱UFJ  
リサーチ&コンサルティング(株))では 経営  
戦略部門に所属し、多様な業界・業態の東  
証一部上場企業から中堅・中小、国内外の  
ベンチャー企業まで幅広くサポート。10年  
間で100案件以上のプロジェクトに携わ  
る。

‘07年創業後は、障害者の「はたらく」を  
中心に、障害福祉事業所・障害者雇用のコ  
ンサルティングや、厚生労働省等の障害者  
に係る政策提言支援・研究支援等を実施。

## 【略歴】

- 1971.11.2 兵庫県伊丹市生まれ
- 1990.4～ 神戸大学工学部生産機械工学科
  - アメリカンフットボール部(ILB/MLB #90)
- 1995.4～ 神戸大学大学院自然科学研究科(機械工学専攻)
  - 燃焼工学(エンジン・レーザー計測)
- 1997.4～ (株)三和総合研究所  
(現:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))
  - 10年間で100案件以上のプロジェクト実施
  - 専門:マーケティング(調査・戦略・実行支援)、中期経営計画、  
新規事業
- 2007.9～ (株)インサイト
  - 障害者の「はたらく」を中心に支援(障害福祉事業所・障害者  
雇用(企業)・政策提言)

## 【兼務】

- ✓ “マーケティングマスターコース”講師 (社)日本マーケティング協会(’03～’14)
- ✓ “アントレプレナー特殊講義”講師 立命館大学(’06～’14)
- ✓ 社会起業家育成支援 N)edge 元常務理事(～’13) 等

# 実績例(工賃向上・経営改善)

研修:4,585件  
 コンサル:1,473件  
 (R6.3迄実績)

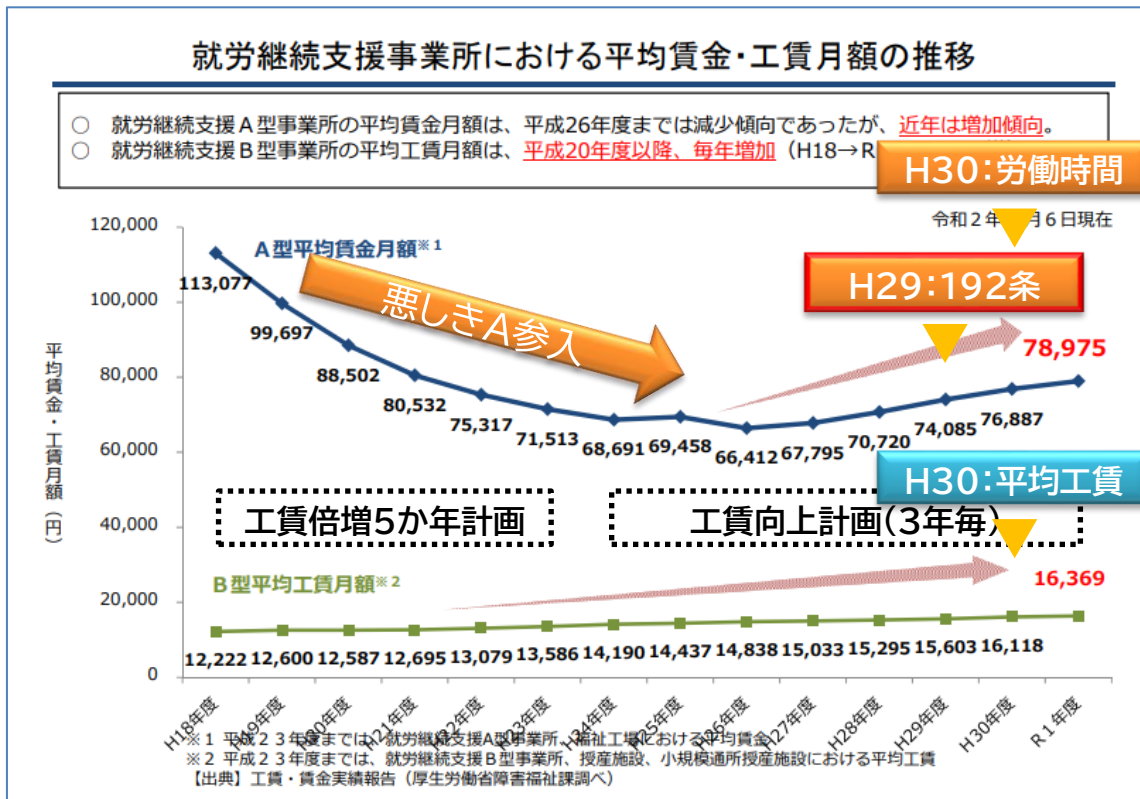
- 全国で事業所の現場を確認しながら工賃向上をサポート(件数:業界トップ)
- 官公庁委託実績(工賃向上・経営改善):
  - 中央:厚生労働省、農林水産省
  - 都道府県:全41都道府県
  - 他市区町村 等



## 前提

# 就労継続支援事業の歴史

- H18.4月:障害者自立支援法施行
  - A型:新しい、障害者の「はたらく」を提示＝最低賃金を保障
  - B型:A型と生活介護の中間として設立



<資料:厚生労働省(<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/000794737.pdf>)を元に(株)インサイト加工>

## R6.4の改正事項

### ● R3スコア方式の導入→勾配を強く+取り締まりをきつく

評価項目	詳細	R3スコア	R6スコア	ポイント
(1)労働時間	1日の平均労働時間	5~80	5~ <b>90</b>	<b>4.5h以上+10pt</b>
(2)生産活動	過去 <b>3</b> 年間の生産活動収支	5~40	<b>-20~60</b>	<b>3年連続黒60pt 単黒40pt 3年連続赤-20pt</b>
(3)多様な働き方	利用者の就業規則(条件)等	0~35	0~ <b>15</b>	
(4)支援力向上のための取組	職員のキャリアアップ等	0~35	0~ <b>15</b>	
(5)地域連携活動	協地域社会と連携した活動	0~10	0~10	
+経営改善計画	経営改善計画の作成状況	—	<b>-50</b>	<b>未提出-50pt</b>
+利用者の知識及び能力向上	利用者の知識及び能力向上のための支援	—	0~ <b>10</b>	<b>支援報告書公表10pt</b>
	満点	200	200	

<資料:「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容」(R6.2.6)>

## R6.4の改正事項

- ギリギリ105点だった所は50点(最低ランク)へ

スコア合計	R3	R6	評価項目	条件	R3スコア	R6スコア
170点以上	724	791	(1)労働時間	4h	40	40
150点以上～	692	733	(2)生産活動	3年連続赤字	5	-20
130点以上～	676	701	(3)多様な働き方	6～7	25	5
105点以上～	655	666	(4)支援力向上	6～7	25	5
80点以上～	527	533	(5)地域連携活動	あり	10	10
60点以上～	413	419	+経営改善計画		-	0
60点未満	319	325	+利用者の知識及び能力向上		-	10
				スコア	105	50
				単価	655	325

<資料:「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容」(R6.2.6)>



# 令和6年度障害者総合福祉推進事業

自治体における就労継続支援事業所の要件確認、就労継続支援  
の報酬体系及び一般就労中の障害者の休職期間中における  
就労系障害福祉サービス等の実態に関する調査研究

就労継続支援A型事業所向け調査(②A)

令和7年1月16日  
(中間報告)



## 仕 様

- 調査方法:Webアンケート方式  
※途中保存システムあり
- 連絡方法:厚労省より、指定権者(都道府県・政令・中核市)に調査協力を依頼  
→各事業所に連絡
- 調査期間:9/13(金)~10/4(金)17時
- 配布数:4,634件
- 回答数(回収率):1,410事業所(30.4%)

---

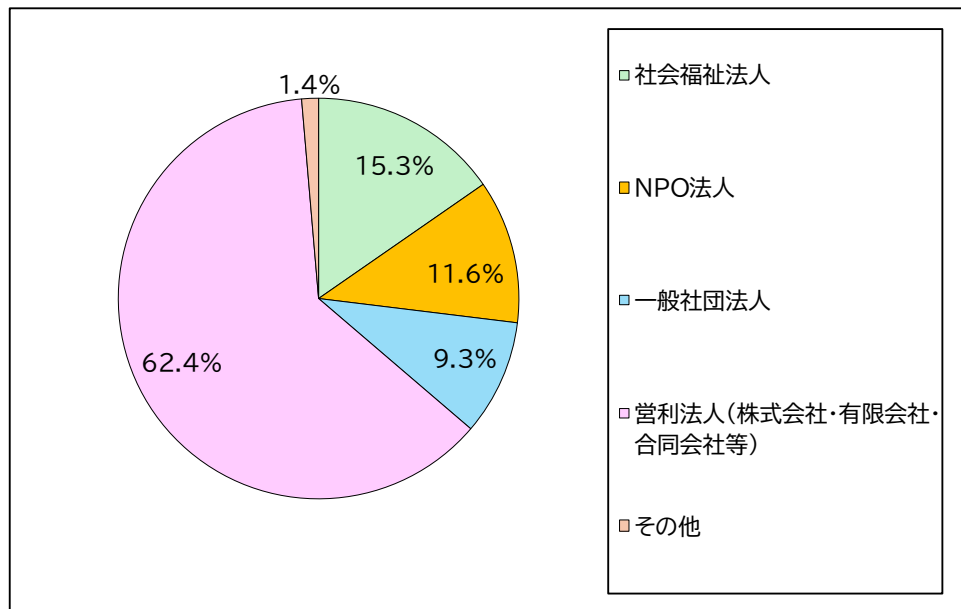
## 調査結果

### Q3.運営法人の法人格

● 「営利法人(株式会社・有限会社・合同会社等)」829件(62.4%)

Q3. 運営法人の法人格 ※

回答	件数	構成比
社会福祉法人	204	15.3%
NPO法人	154	11.6%
一般社団法人	124	9.3%
営利法人(株式会社・有限会社・合同会社等)	829	62.4%
その他	18	1.4%
計	1,329	100.0%
無回答	81	

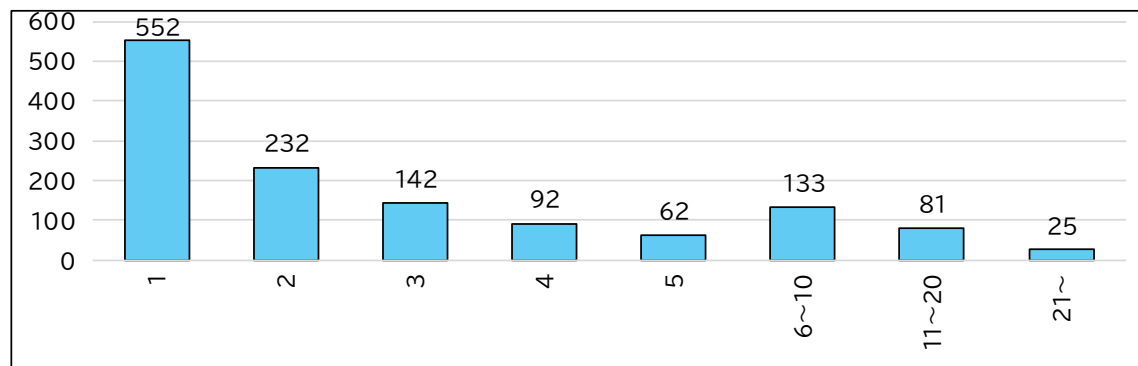


## Q5.貴法人で運営する障害福祉サービス事業所数 (法人全体・全サービスの合計数)

- 「1事業所」552件(41.8%)、「2事業所」232件(17.6%)

Q5. 貴法人で運営する障害福祉サービス事業所数(法人全体・全サービスの合計数) ※

範囲	件数	構成比
1	552	41.8%
2	232	17.6%
3	142	10.8%
4	92	7.0%
5	62	4.7%
6~10	133	10.1%
11~20	81	6.1%
21~	25	1.9%
計	1,319	100.0%
無回答	91	

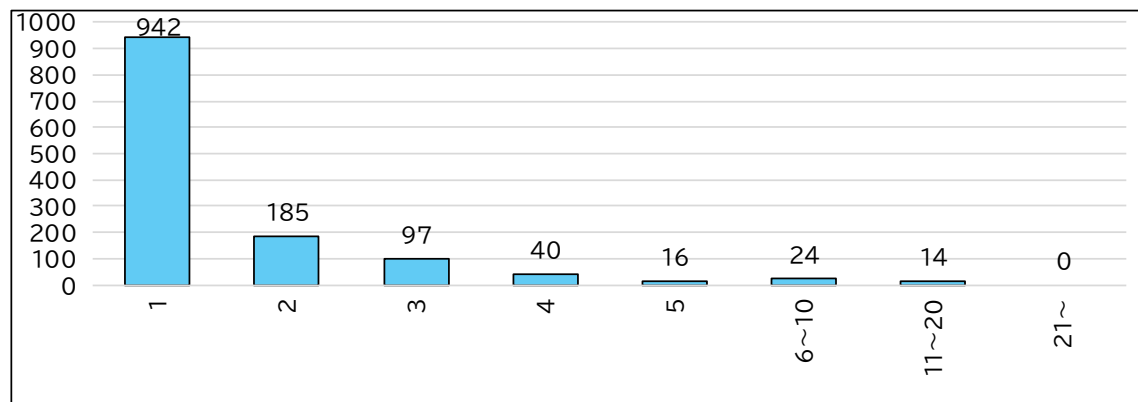


## Q5-1.うち就労継続支援A型事業所数

- 「1件」942件(71.5%)

うち就労継続支援A型事業所数

範囲	件数	構成比
1	942	71.5%
2	185	14.0%
3	97	7.4%
4	40	3.0%
5	16	1.2%
6~10	24	1.8%
11~20	14	1.1%
21~	0	0.0%
計	1,318	100.0%
無回答	92	



## Q8.事業所の設立年度(西暦)

● 2011～2015年:473件

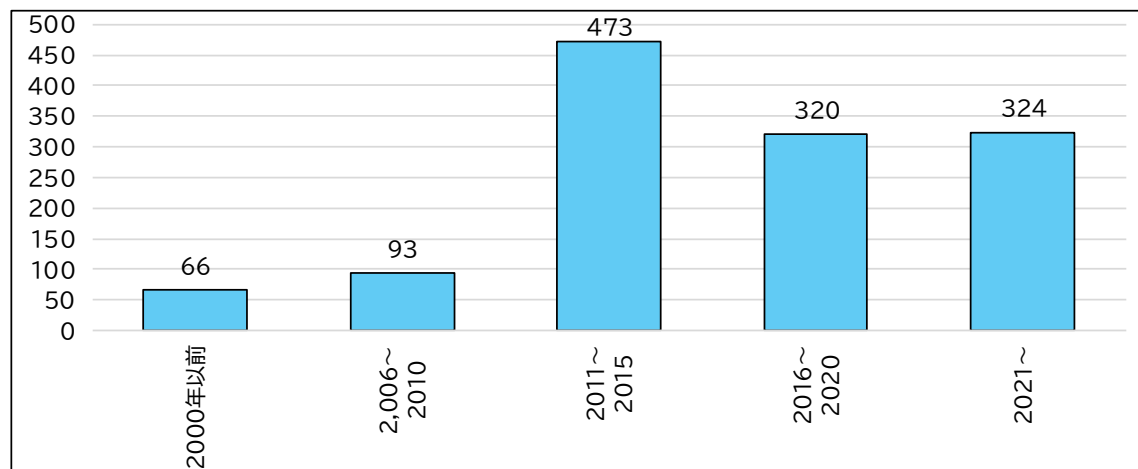
2006年:自立支援法

2012年:特開金の制約が緩くなった時期

2017年:生産活動収支<賃金の場合、経営改善計画を提出

Q8. 事業所の設立年度(西暦)

範囲	件数	構成比
0	0	0.0%
2000年以前	66	5.2%
2,006～2010	93	7.3%
2011～2015	473	37.1%
2016～2020	320	25.1%
2021～	324	25.4%
		0.0%
		0.0%
		0.0%
		0.0%
計	1,276	100.0%
無回答	134	

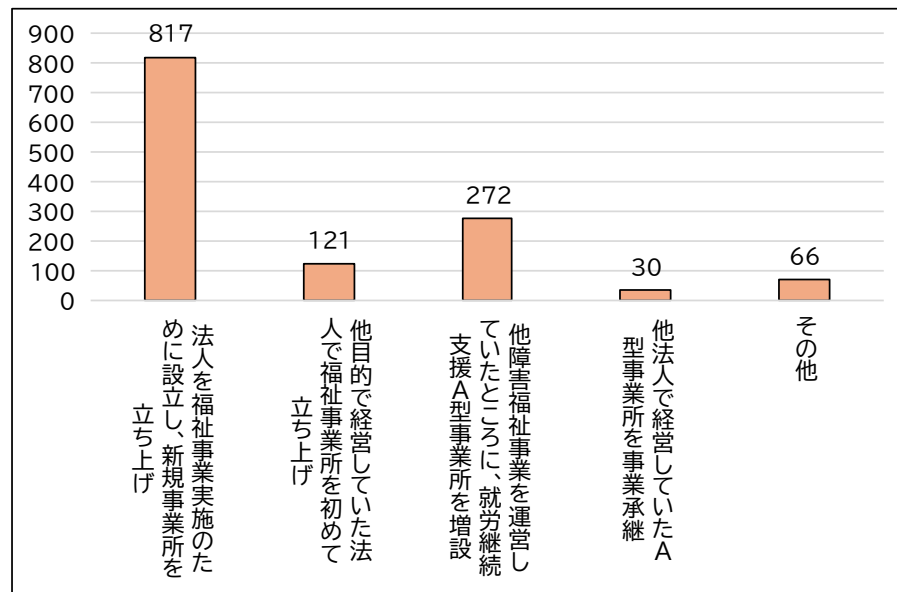


## Q9.事業所設立の経緯

● 「法人を福祉事業実施のために設立し、新規事業所を立ち上げ」817件(57.9%)

Q9. 事業所設立の経緯

回答	全体	
	件数	構成比
法人を福祉事業実施のために設立し、新規事業所を立ち上げ	817	57.9%
他目的で経営していた法人で福祉事業所を初めて立ち上げ	121	8.6%
他障害福祉事業を運営していたところに、就労継続支援A型事業所を増設	272	19.3%
他法人で経営していたA型事業所を事業承継	30	2.1%
その他	66	4.7%
計	1,410	



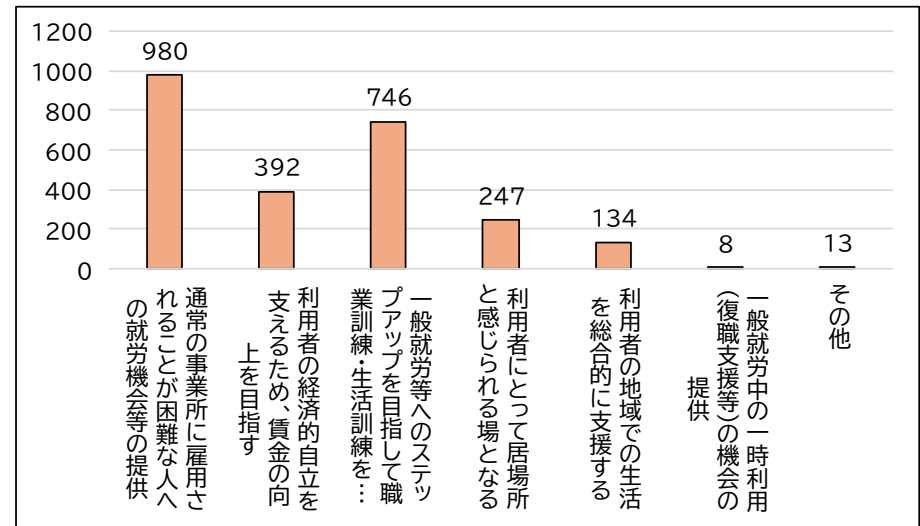


# Q10. 貴事業所の設立目的または運営する上での考え方に近いものを2つまで選択してください。

- 「就労機会の提供」980件(69.5%)、「一般就労等へのステップアップ」746件(52.9%)

Q10. 貴事業所の設立目的または運営する上での考え方に近いものを2つまで選択してください。

回答	全体	
	件数	構成比
通常の事業所に雇用されることが困難な人への就労機会等の提供	980	69.5%
利用者の経済的自立を支えるため、賃金の向上を目指す	392	27.8%
一般就労等へのステップアップを目指して職業訓練・生活訓練を行う	746	52.9%
利用者にとって居場所と感じられる場となる	247	17.5%
利用者の地域での生活を総合的に支援する	134	9.5%
一般就労中の一時利用(復職支援等)の機会の提供	8	0.6%
その他	13	0.9%
計	1,410	

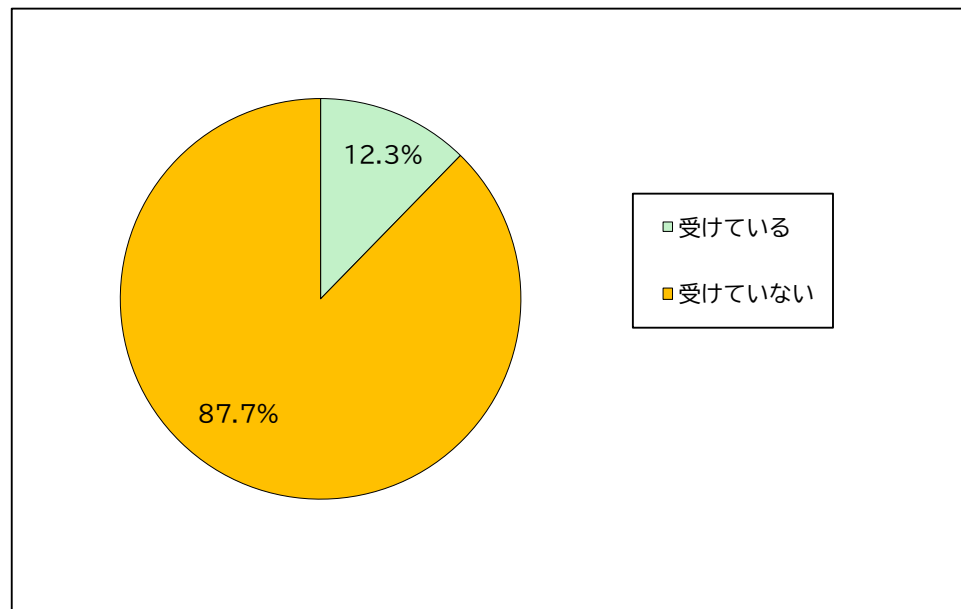


## Q11.貴事業所は障害者雇用率のグループ算定を受けていますか。

### ● 「受けている」156件(12.3%)

Q11. 貴事業所は障害者雇用率のグループ算定を受けていますか。

回答	件数	構成比
受けている	156	12.3%
受けていない	1,112	87.7%
計	1,268	100.0%
無回答	61	

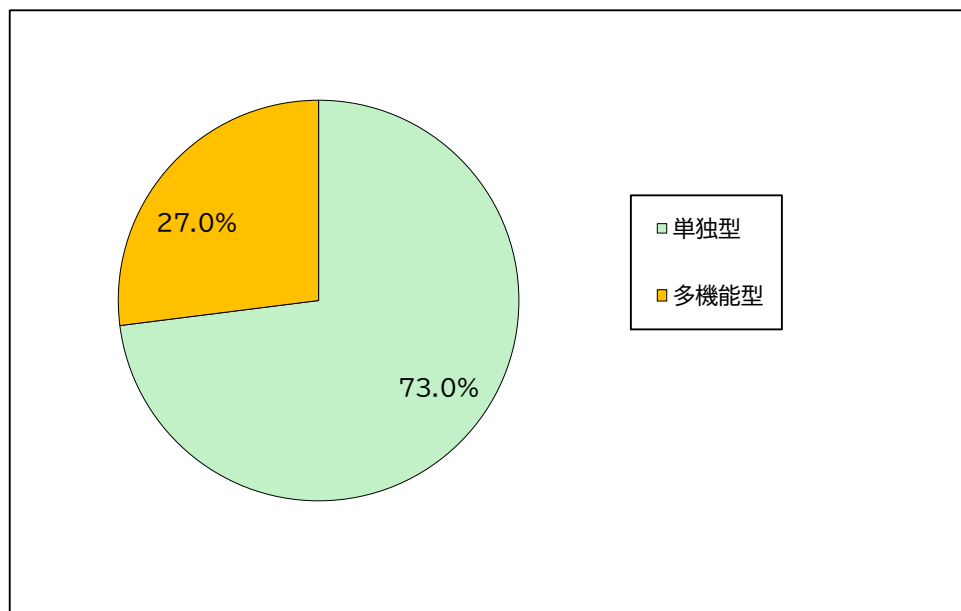


## Q12.事業所指定の形態

### ● 「単独型」960件(73.0%)

Q12. 事業所指定の形態

回答	件数	構成比
単独型	960	73.0%
多機能型	355	27.0%
計	1,315	100.0%
無回答	14	

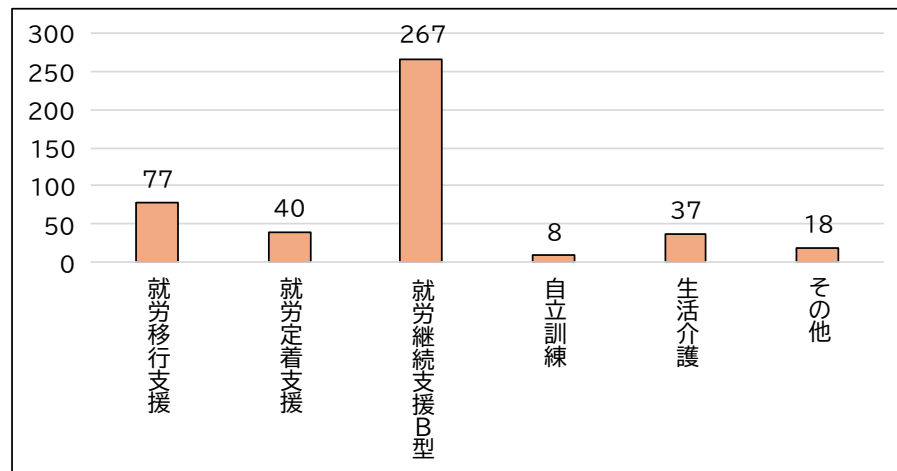


## Q13.具体的に、どのサービスとの多機能型事業所ですか。

### ● 「B型」267件(75.2%)

Q13. 具体的に、どのサービスとの多機能型事業所ですか。

回答	全体	
	件数	構成比
就労移行支援	77	21.7%
就労定着支援	40	11.3%
就労継続支援B型	267	75.2%
自立訓練	8	2.3%
生活介護	37	10.4%
その他	18	5.1%
計	355	

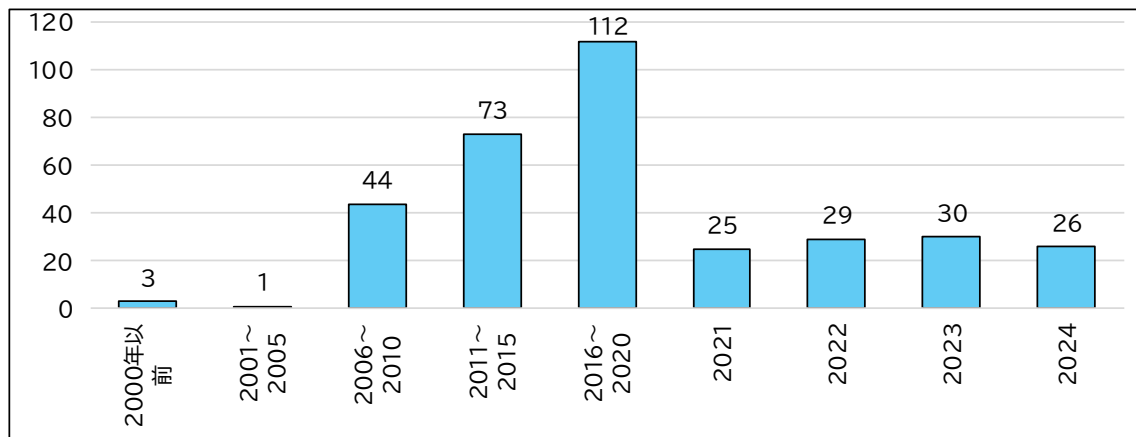


## Q13-1.多機能型の指定を受けた年度(西暦)

- 2016～2020年112件(32.7%)  
→設立年度と考えると2017(H29)年192条2項により多機能化が進んだか？

多機能型の指定を受けた年度(西暦)

範囲	件数	構成比
2000年以前	3	0.9%
2001～2005	1	0.3%
2006～2010	44	12.8%
2011～2015	73	21.3%
2016～2020	112	32.7%
2021	25	7.3%
2022	29	8.5%
2023	30	8.7%
2024	26	7.6%
計	343	100.0%
無回答	12	

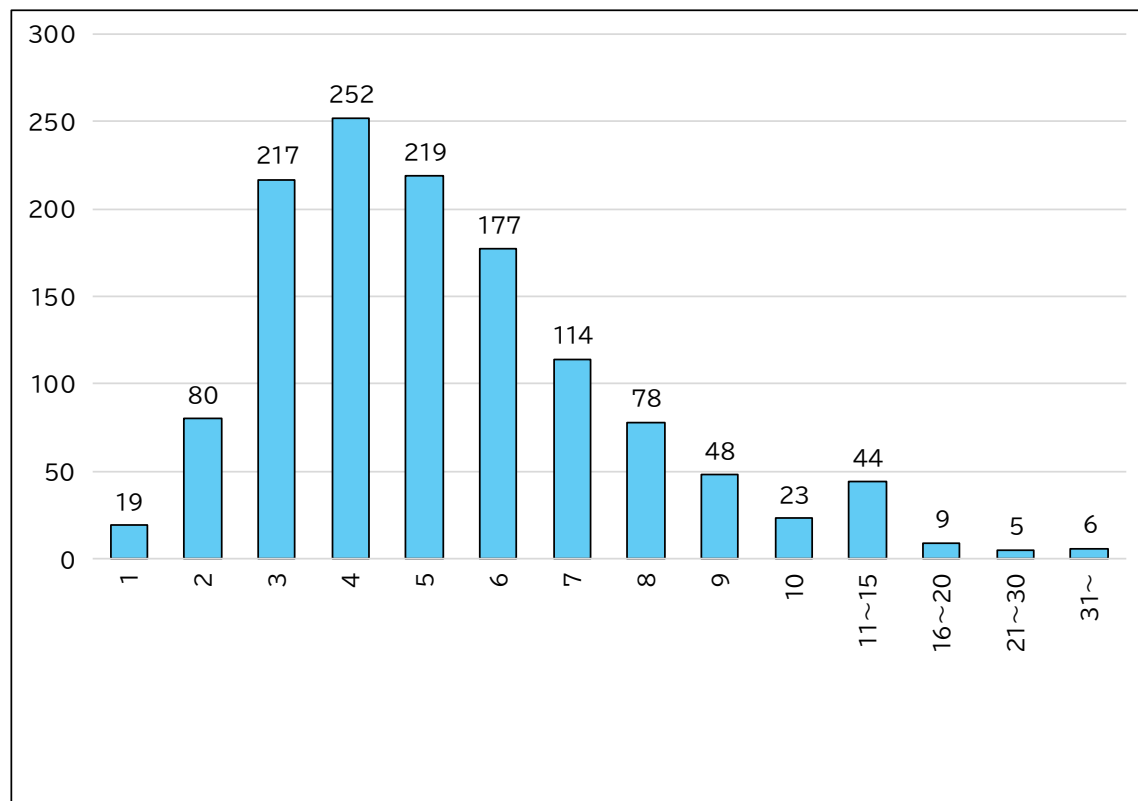


# Q14. 支援員数(職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等)

● 「4名」252件(19.5%)

Q14. 支援員数(職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等)

範囲	件数	構成比
1	19	1.5%
2	80	6.2%
3	217	16.8%
4	252	19.5%
5	219	17.0%
6	177	13.7%
7	114	8.8%
8	78	6.0%
9	48	3.7%
10	23	1.8%
11~15	44	3.4%
16~20	9	0.7%
21~30	5	0.4%
31~	6	0.5%
計	1,291	100.0%
無回答	119	

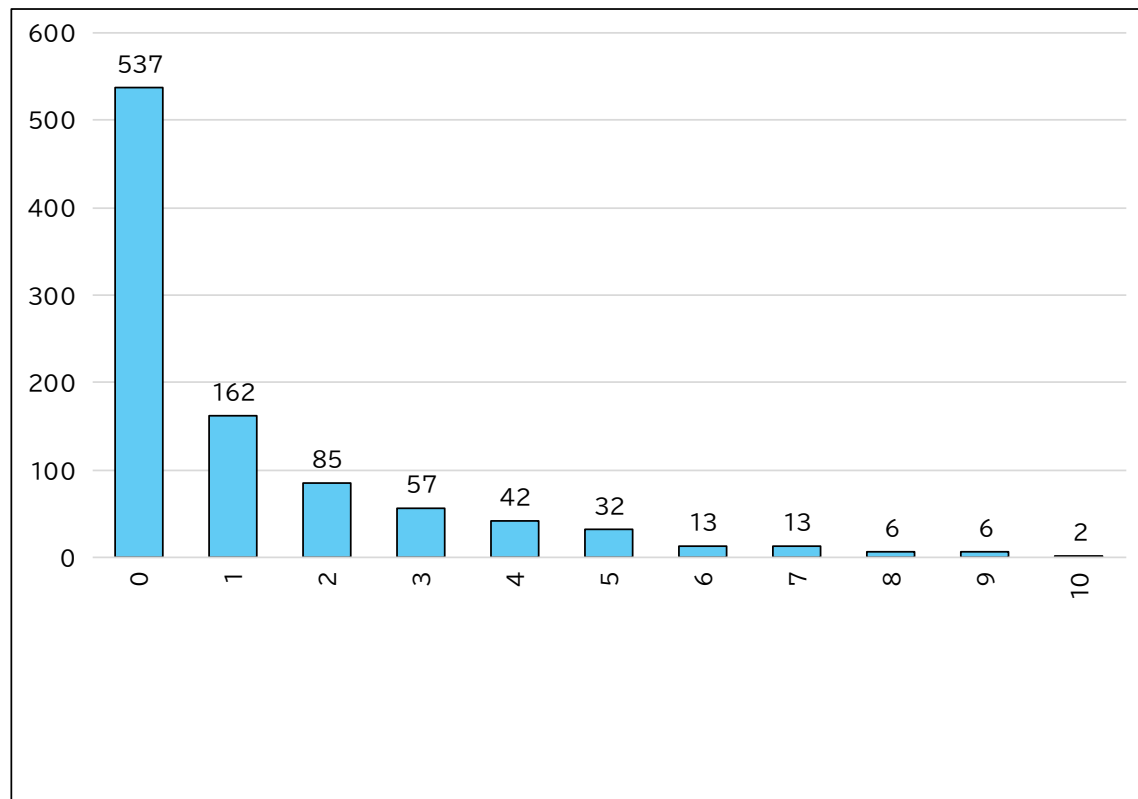


## Q14-1.生産活動専門職員数(調理員、農業指導員等)

- 「0名」537件(55.8%)、「1名」162件(16.8%)

生産活動専門職員数(調理員、農業指導員等)

範囲	件数	構成比
0	537	55.8%
1	162	16.8%
2	85	8.8%
3	57	5.9%
4	42	4.4%
5	32	3.3%
6	13	1.4%
7	13	1.4%
8	6	0.6%
9	6	0.6%
10	2	0.2%
11~15	6	0.6%
16~20	1	0.1%
21~30	0	0.0%
31~	0	0.0%
計	962	100.0%
無回答	448	

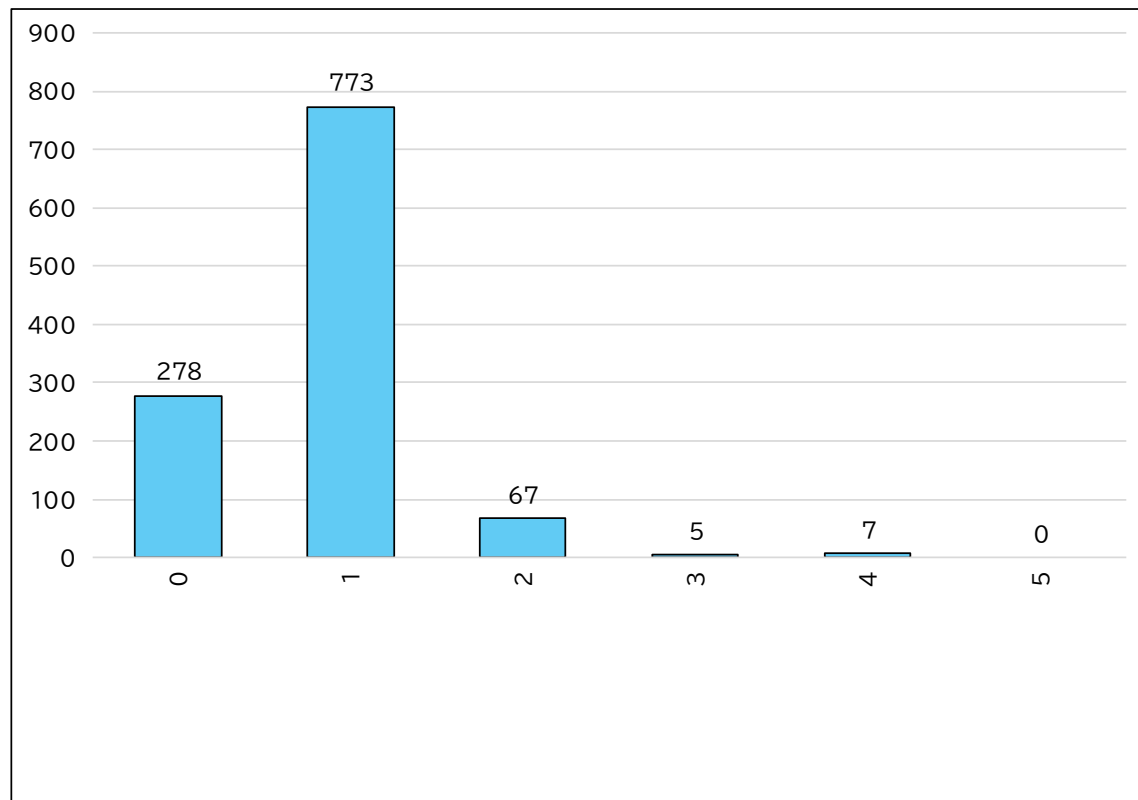


## Q14-2.賃金向上達成指導員数

- 「1名」773件(68.1%)、「0名」278件(24.5%)

賃金向上達成指導員数

範囲	件数	構成比
0	278	24.5%
1	773	68.1%
2	67	5.9%
3	5	0.4%
4	7	0.6%
5	0	0.0%
6	0	0.0%
7	1	0.1%
8	2	0.2%
9	0	0.0%
10	1	0.1%
11~15	1	0.1%
16~20	0	0.0%
21~30	0	0.0%
31~	0	0.0%
計	1,135	100.0%
無回答	275	

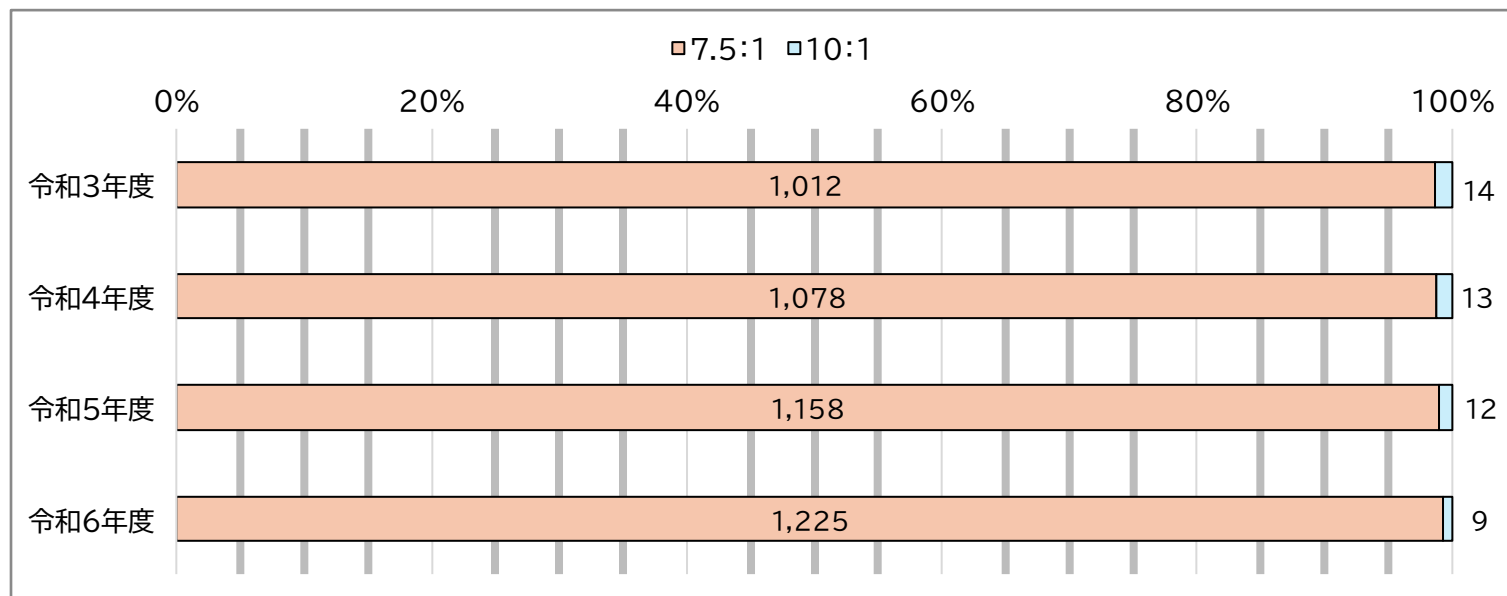




## Q15.人員配置基準<令和3~6年度>

- ほとんどが7.5:1

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7.5:1	1012	1078	1158	1225
10:1	14	13	12	9
計	1026	1091	1170	1234

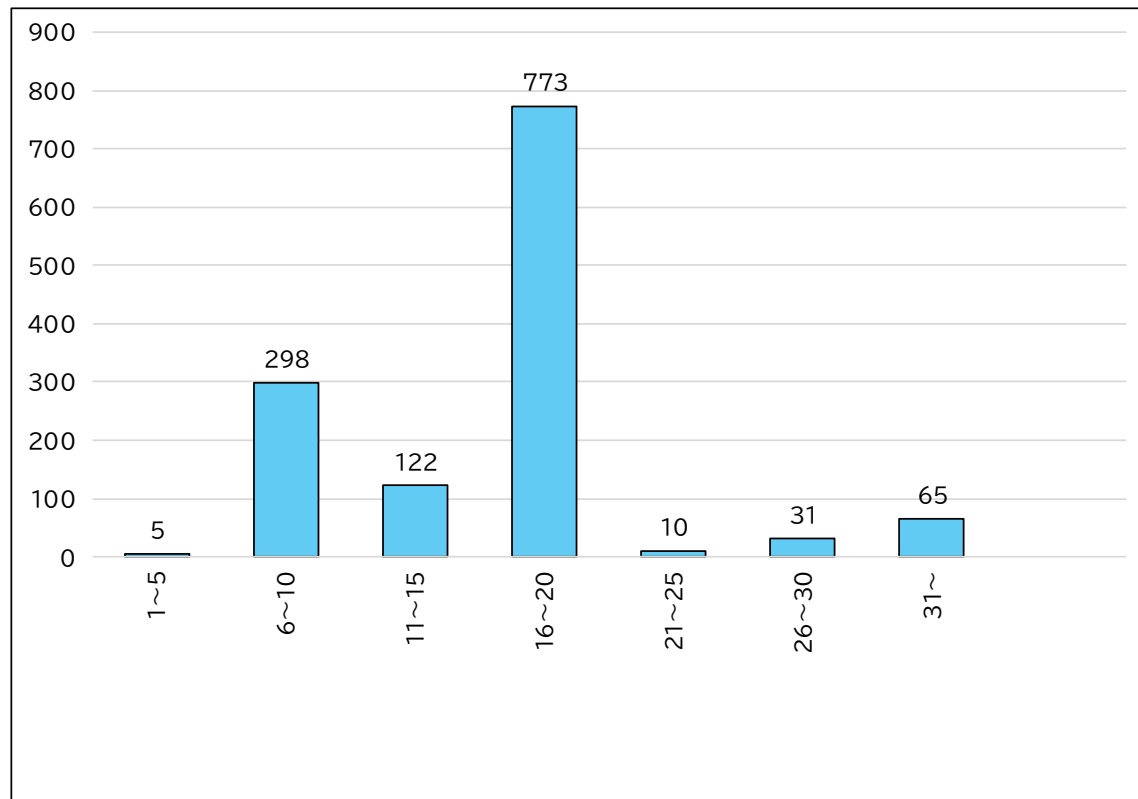


# Q16.定員数

● 「16～20名」773件(59.3%) ※実質ほとんど20名

Q16. 定員数

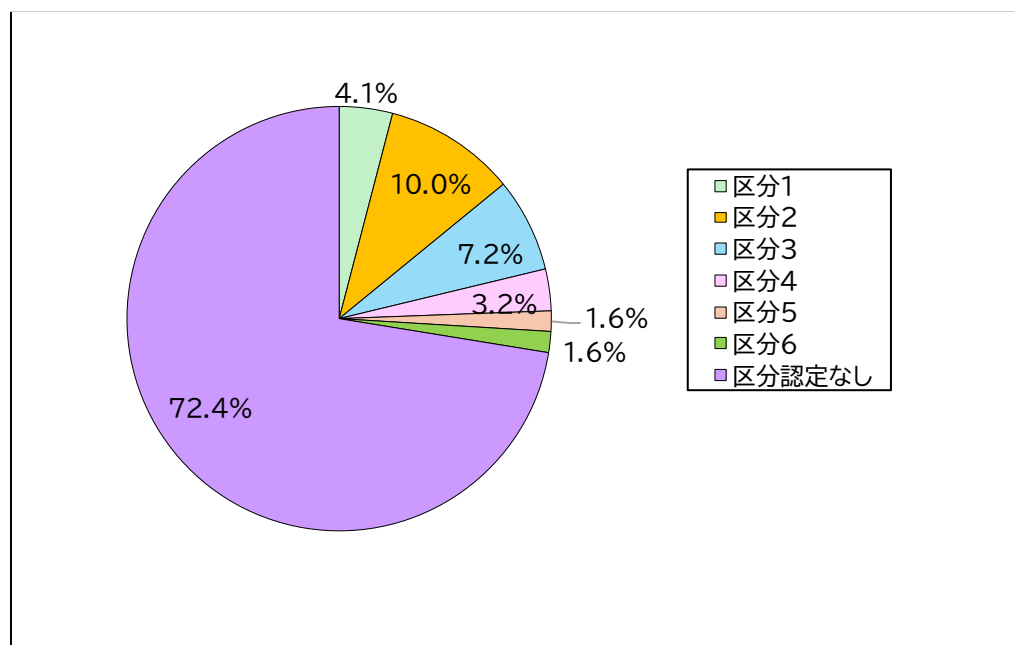
範囲	件数	構成比
0	0	0.0%
1～5	5	0.4%
6～10	298	22.9%
11～15	122	9.4%
16～20	773	59.3%
21～25	10	0.8%
26～30	31	2.4%
31～	65	5.0%
計	1,304	100.0%
無回答	106	



## Q16-1.利用(登録)者数 ※利用者数ベース

- 「区分認定なし」15,345人(72.4%)

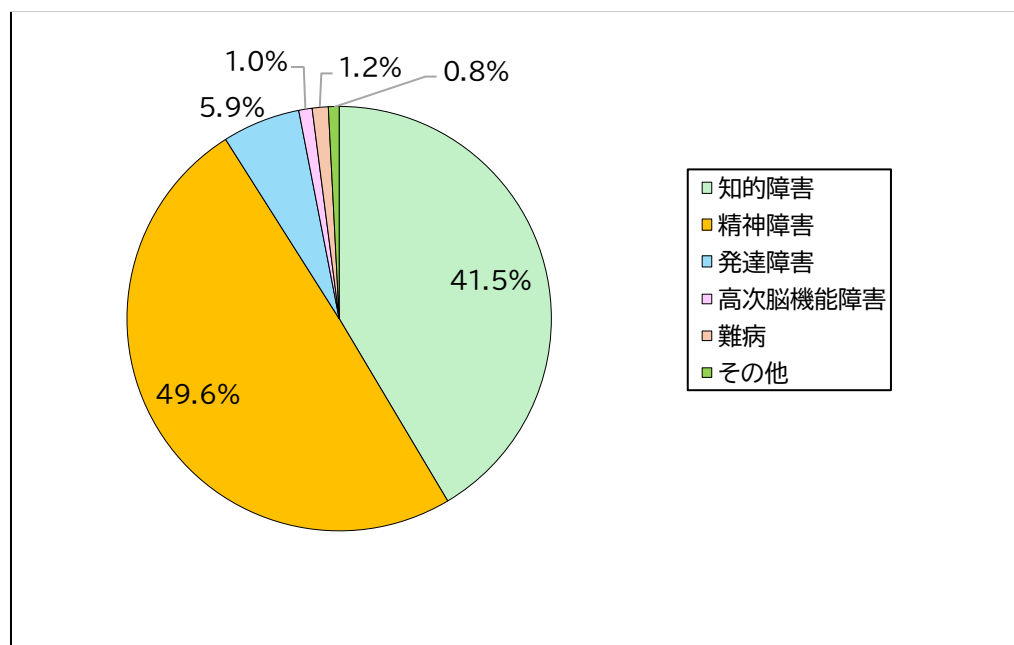
回答	件数	構成比
区分1	860	4.1%
区分2	2,124	10.0%
区分3	1,515	7.2%
区分4	673	3.2%
区分5	329	1.6%
区分6	339	1.6%
区分認定なし	15,345	72.4%
計	21,185	100.0%



## Q16-2.利用者の主な障害種別と人数、及びその利用者のうち重度障害者の人数

- 「精神障害」10,684人(49.6%)、「知的障害」8,937人(41.5%)

回答	件数	構成比
知的障害	8,937	41.5%
精神障害	10,684	49.6%
発達障害	1,279	5.9%
高次脳機能障害	220	1.0%
難病	263	1.2%
その他	176	0.8%
計	21,559	100.0%

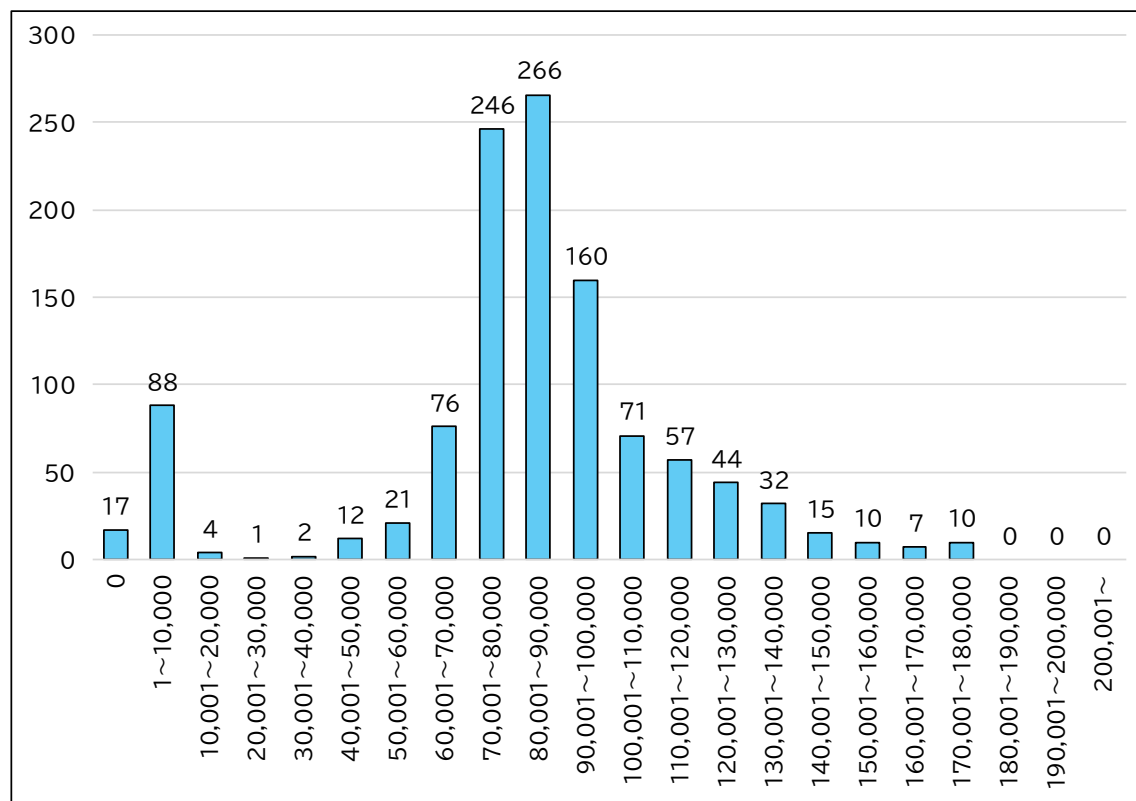


## Q16-4.利用者の平均賃金(月額) < 令和5年度実績 >

● 80,001円以上～90,000円:266件(23.4%)

利用者の平均賃金(月額) < 令和5年度実績 >

範囲	件数	構成比
0	17	1.5%
1～10,000	88	7.7%
10,001～20,000	4	0.4%
20,001～30,000	1	0.1%
30,001～40,000	2	0.2%
40,001～50,000	12	1.1%
50,001～60,000	21	1.8%
60,001～70,000	76	6.7%
70,001～80,000	246	21.6%
80,001～90,000	266	23.4%
90,001～100,000	160	14.0%
100,001～110,000	71	6.2%
110,001～120,000	57	5.0%
120,001～130,000	44	3.9%
130,001～140,000	32	2.8%
140,001～150,000	15	1.3%
150,001～160,000	10	0.9%
160,001～170,000	7	0.6%
170,001～180,000	10	0.9%
180,001～190,000	0	0.0%
190,001～200,000	0	0.0%
200,001～	0	0.0%
計	1,139	100.0%
無回答	271	

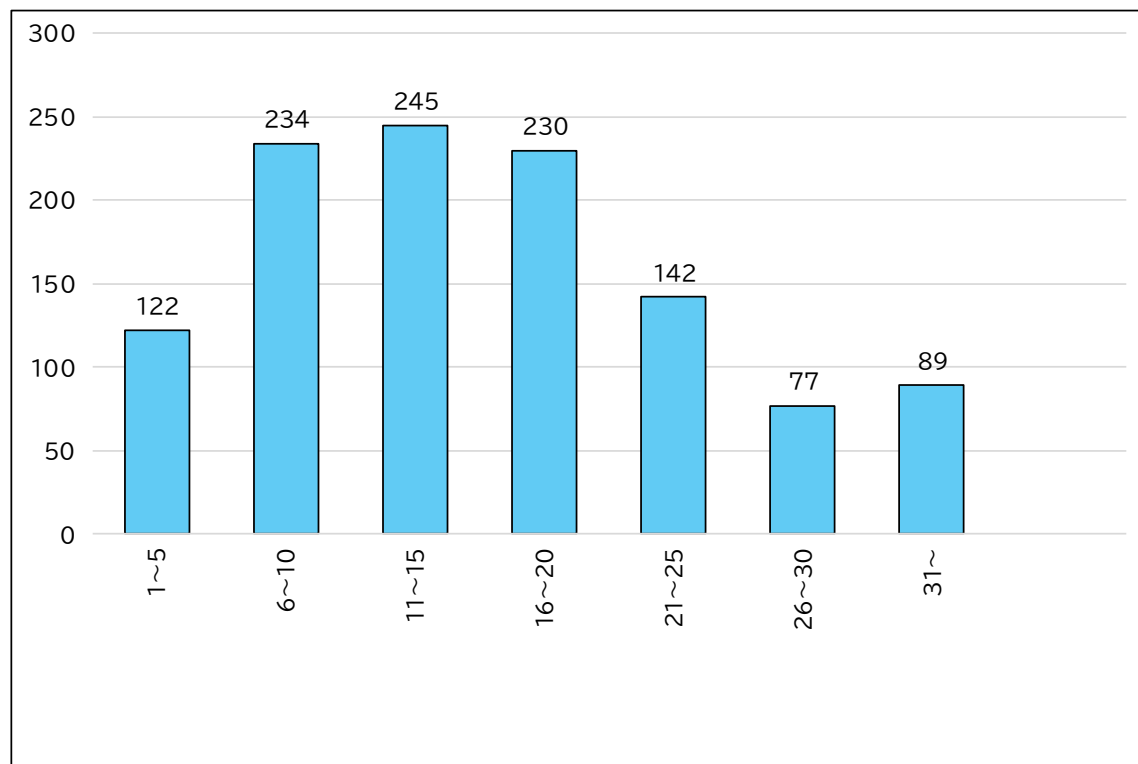


## Q16-5. 1日平均利用者数 <令和5年度実績>

- 11~15人:245件(21.2%)

1日平均利用者数 <令和5年度実績>

範囲	件数	構成比
1~5	122	10.6%
6~10	234	20.3%
11~15	245	21.2%
16~20	230	19.9%
21~25	142	12.3%
26~30	77	6.7%
31~	89	7.7%
計	1,153	100.0%
無回答	257	

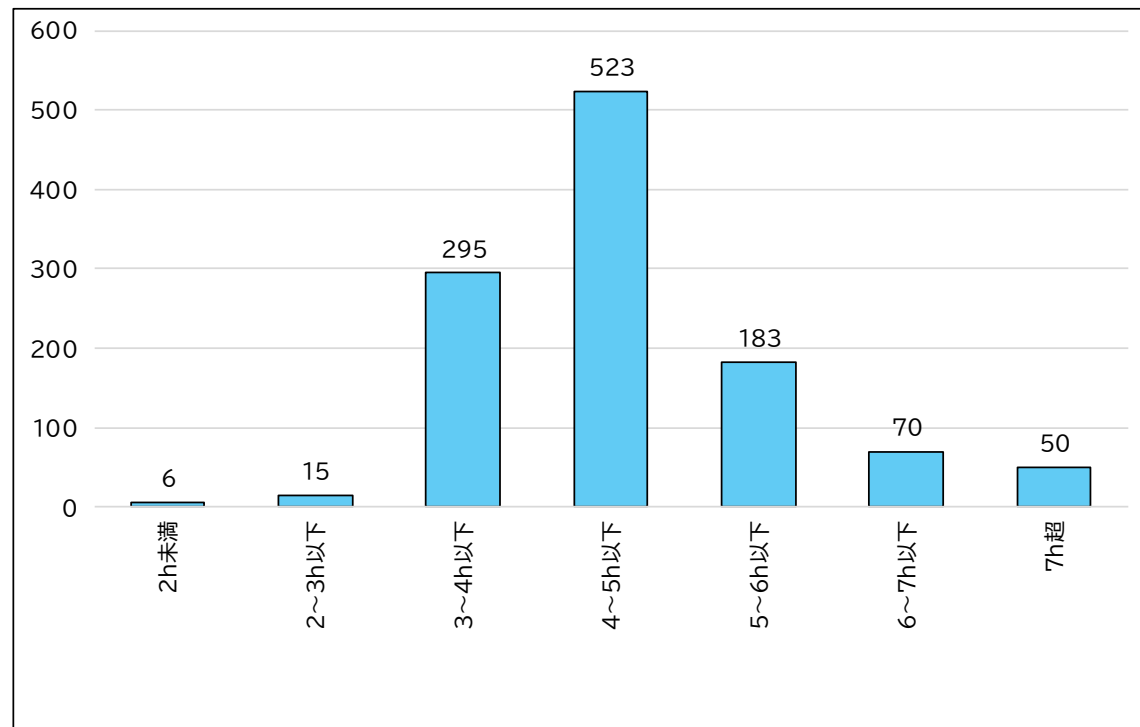


## Q16-6.利用者の1日平均労働時間 <令和5年度実績>

- 「4～5h」523件(45.2%)、「3～4h」295件(25.5%)

利用者の1日平均労働時間 <令和5年度実績>

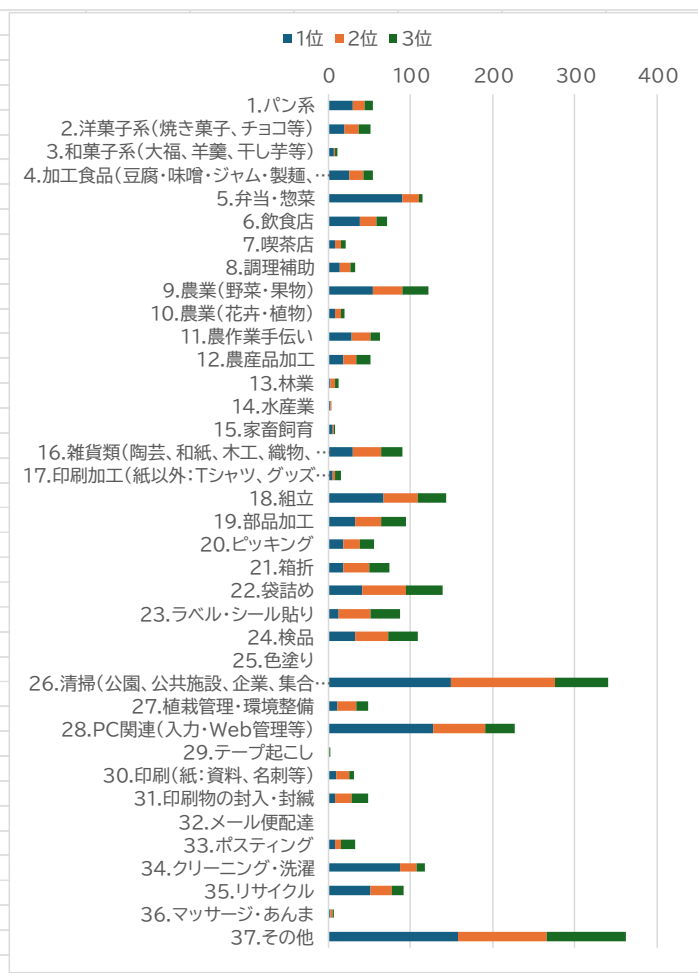
範囲	件数	構成比
2h未満	6	0.5%
2～3h以下	15	1.3%
3～4h以下	295	25.5%
4～5h以下	523	45.2%
5～6h以下	183	15.8%
6～7h以下	70	6.1%
7h超	50	4.3%
計	1,157	100.0%
無回答	253	



Q17.貴事業所で行っている生産活動の種類のうち、収入(売上高)上位3つを下記一覧から選んで、番号をご記入下さい。

● 26清掃、28PC関連

ID	回答	1位	2位	3位	計
1	1.パン系	30	14	11	55
2	2.洋菓子系(焼き菓子、チョコ等)	20	17	15	52
3	3.和菓子系(大福、羊羹、干し芋等)	7	2	2	11
4	4.加工食品(豆腐・味噌・ジャム・製麺、こんにゃく、焙煎珈琲等)	25	18	11	54
5	5.弁当・惣菜	90	21	4	115
6	6.飲食店	38	21	13	72
7	7.喫茶店	8	8	5	21
8	8.調理補助	14	13	6	33
9	9.農業(野菜・果物)	55	36	31	122
10	10.農業(花卉・植物)	9	7	4	20
11	11.農作業手伝い	29	23	11	63
12	12.農産品加工	19	15	17	51
13	13.林業	2	7	4	13
14	14.水産業	2	2	0	4
15	15.家畜飼育	6	1	1	8
16	16.雑貨類(陶芸、和紙、木工、織物、藍染、革製品、ビーズ、縫製等)	30	35	25	90
17	17.印刷加工(紙以外:Tシャツ、グッズ等)	5	4	6	15
18	18.組立	68	41	35	144
19	19.部品加工	33	32	29	94
20	20.ピッキング	18	20	18	56
21	21.箱折	18	32	24	74
22	22.袋詰め	42	52	45	139
23	23.ラベル・シール貼り	13	38	36	87
24	24.検品	33	40	36	109
25	25.色塗り	0	0	0	0
26	26.清掃(公園、公共施設、企業、集合住宅等)	149	126	66	341
27	27.植栽管理・環境整備	12	22	15	49
28	28.PC関連(入力・Web管理等)	127	64	36	227
29	29.テープ起こし	0	1	1	2
30	30.印刷(紙:資料、名刺等)	10	15	7	32
31	31.印刷物の封入・封緘	8	20	21	49
32	32.メール便配達	0	0	0	0
33	33.ポストイング	8	8	17	33
34	34.クリーニング・洗濯	87	21	10	118
35	35.リサイクル	52	25	15	92
36	36.マッサージ・あんま	2	4	1	7
37	37.その他	158	108	96	362
	計	1,227	913	674	2,814



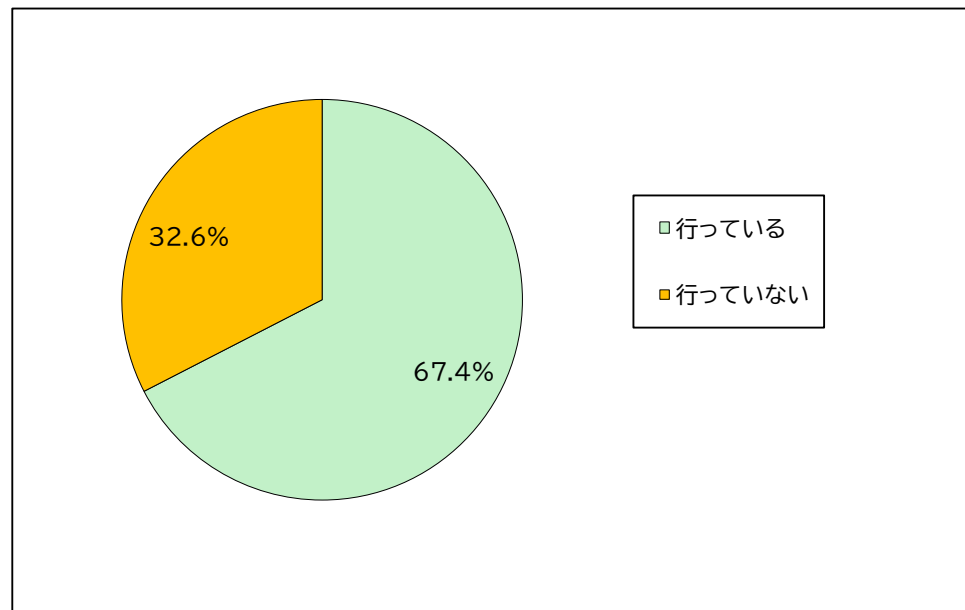


## Q18. 貴事業所では、施設外就労を行っていますか。

- 施設外「行っている」868件(67.4%)

Q18. 貴事業所では、施設外就労を行っていますか。

回答	件数	構成比
行っている	868	67.4%
行っていない	419	32.6%
計	1,287	100.0%
無回答	42	

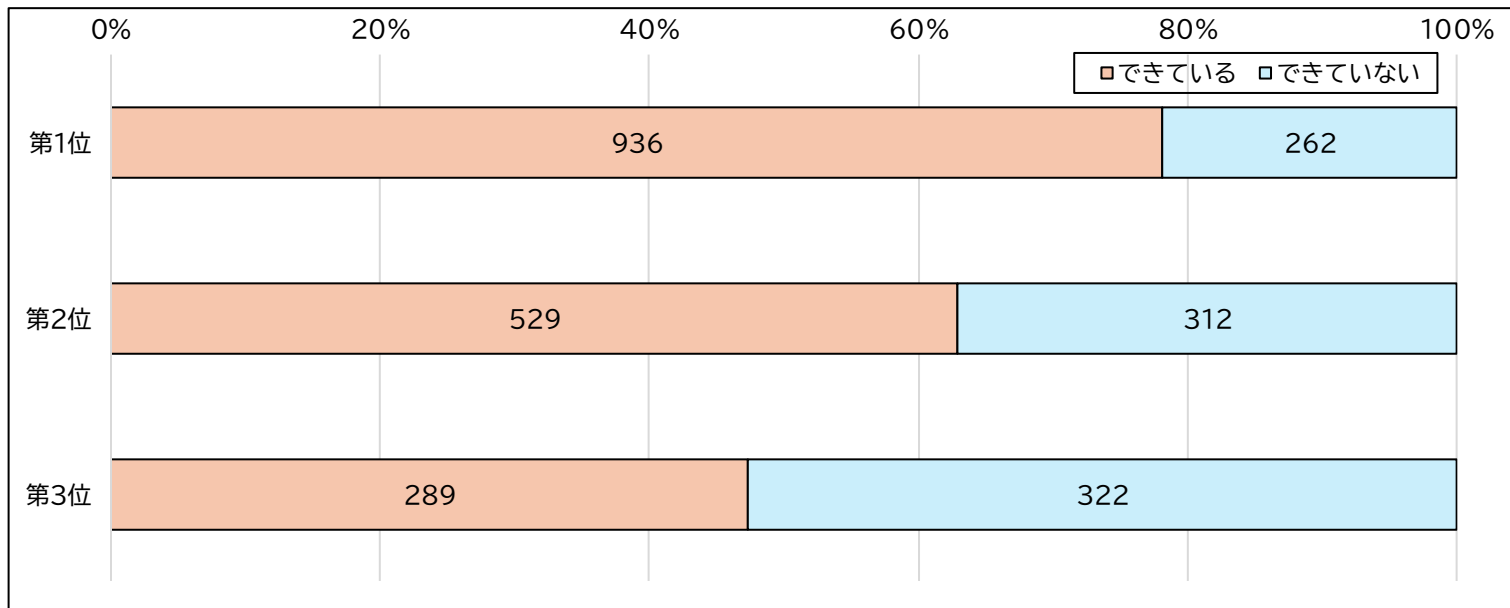


## Q21. Q17で答えたそれぞれの生産活動について、1人当たり最低賃金を上回る単価設定ができていますか。

- 第1位は8割弱達成、2位で6割強、3位は5割以下

Q21. Q17で答えたそれぞれの生産活動について、1人当たり最低賃金を上回る単価設定ができていますか。

	第1位	第2位	第3位
できている	936	529	289
できていない	262	312	322
計	1198	841	611



## Q22.直近3年度の利用終了者の移行先と人数をお答えください。

- R5:一般就労269件(24.9%)、A型153件(14.1%)、B型183件(16.9%)

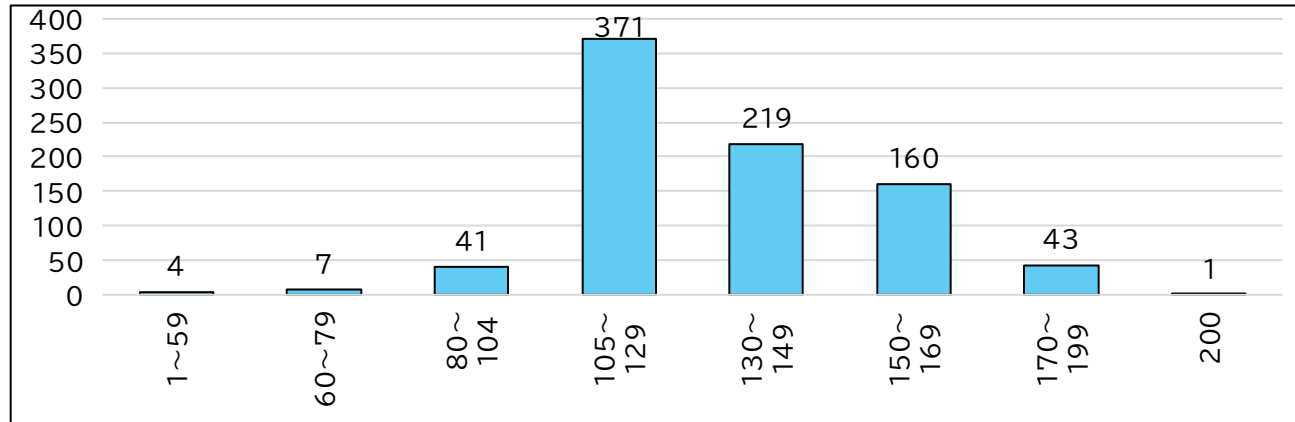
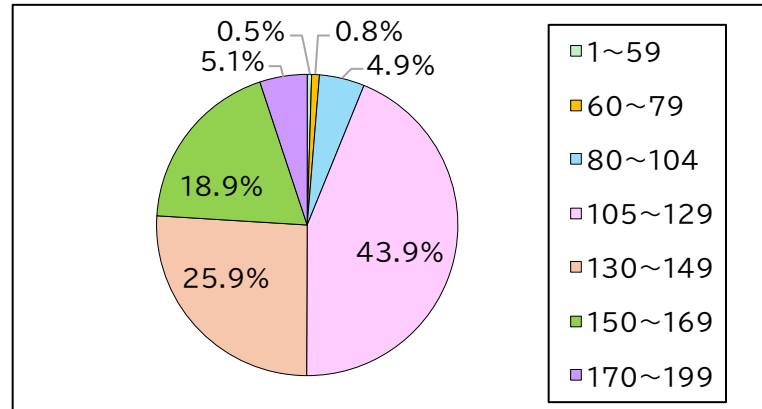
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
一般就労	230	29.1%	251	26.9%	269	24.9%
就労移行支援	28	3.5%	28	3.0%	39	3.6%
就労継続支援A型	106	13.4%	153	16.4%	153	14.1%
就労継続支援B型	113	14.3%	144	15.5%	183	16.9%
生活介護	13	1.6%	13	1.4%	14	1.3%
入院	50	6.3%	63	6.8%	85	7.9%
在宅(※在宅就労ではない)	106	13.4%	97	10.4%	132	12.2%
不明	67	8.5%	99	10.6%	100	9.2%
その他	77	9.7%	84	9.0%	107	9.9%
計	790	100.0%	932	100.0%	1,082	100.0%

# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

- R3～5すべて105～129点 が最も多い

A型スコア合計点(令和3年度)

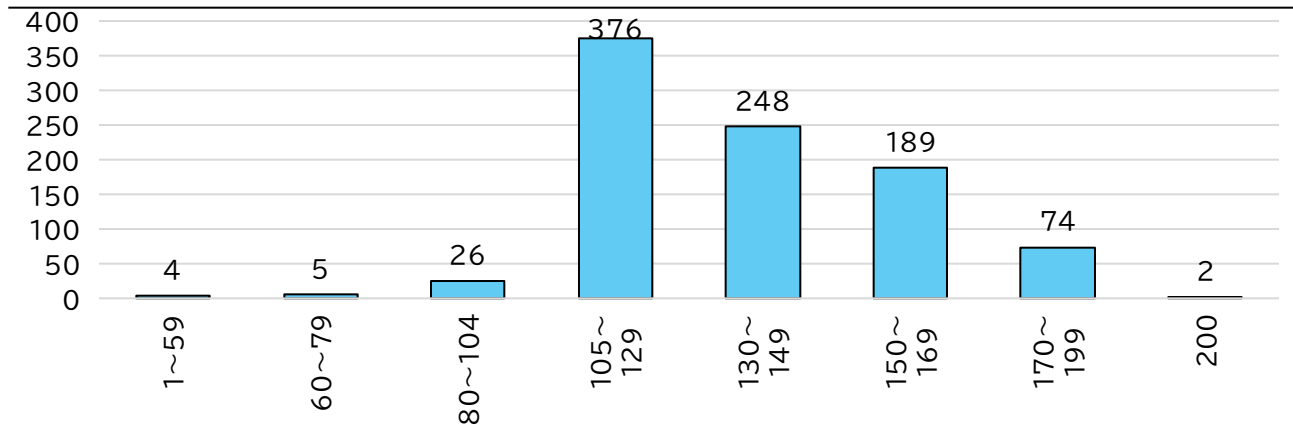
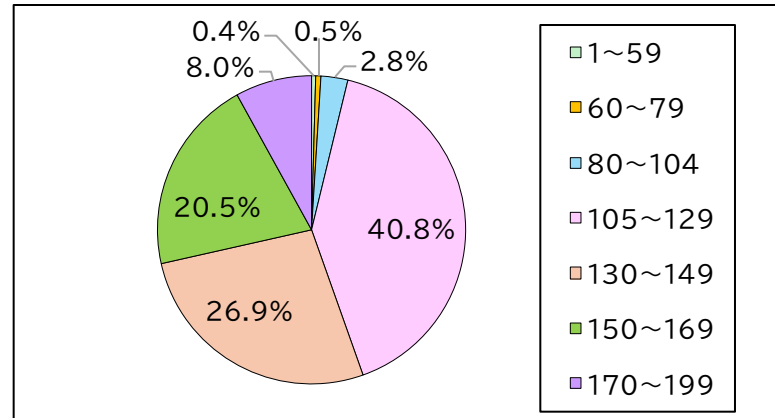
範囲	件数	構成比
1～59	4	0.5%
60～79	7	0.8%
80～104	41	4.8%
105～129	371	43.9%
130～149	219	25.9%
150～169	160	18.9%
170～199	43	5.1%
200	1	0.1%
計	846	100.0%



# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

A型スコア合計点(令和4年度)

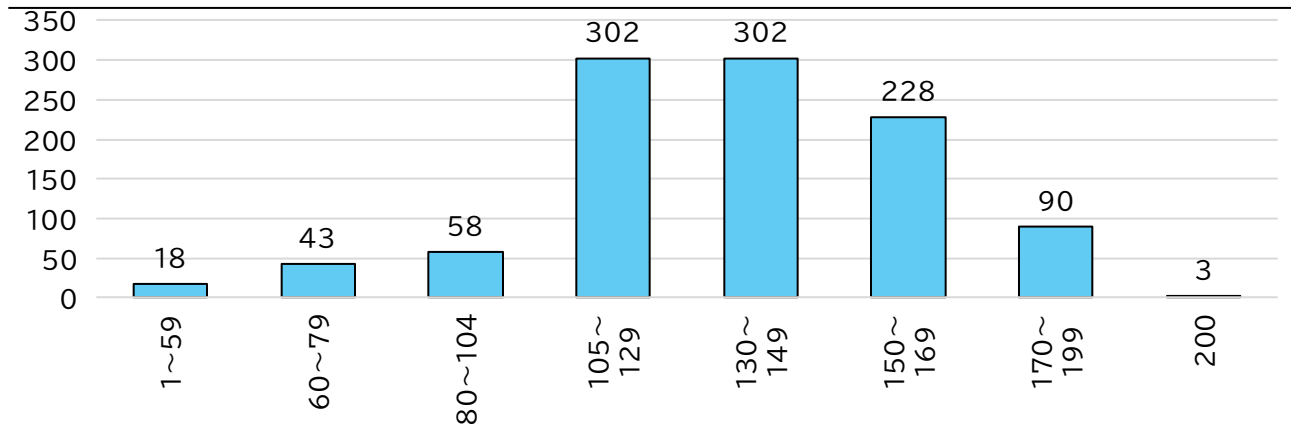
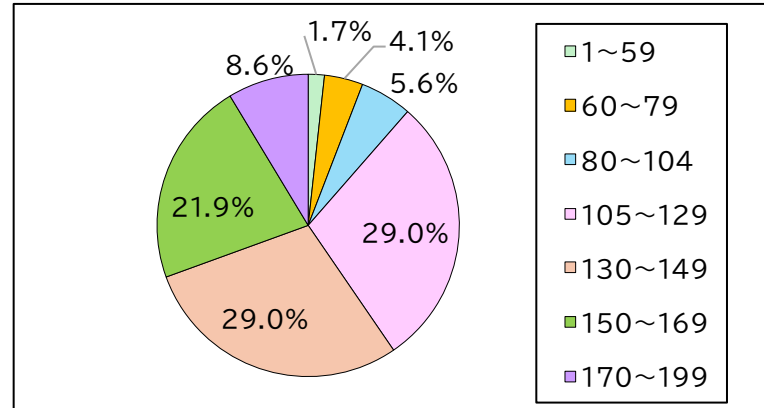
範囲	件数	構成比
1~59	4	0.4%
60~79	5	0.5%
80~104	26	2.8%
105~129	376	40.7%
130~149	248	26.8%
150~169	189	20.5%
170~199	74	8.0%
200	2	0.2%
計	924	100.0%



# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

A型スコア合計点(令和5年度)

範囲	件数	構成比
1~59	18	1.7%
60~79	43	4.1%
80~104	58	5.6%
105~129	302	28.9%
130~149	302	28.9%
150~169	228	21.8%
170~199	90	8.6%
200	3	0.3%
計	1,044	100.0%

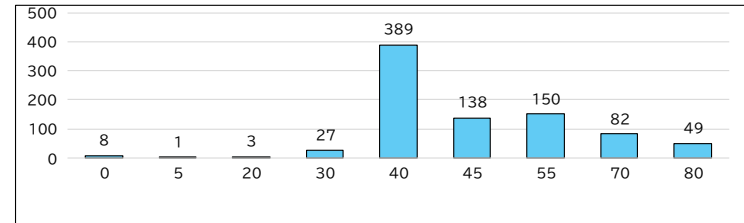
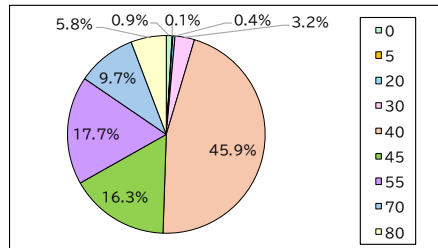


# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。( I 労働時間)

## ● 40点

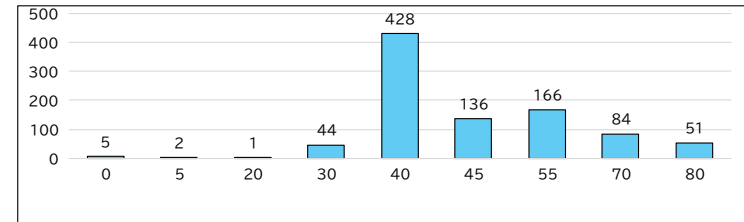
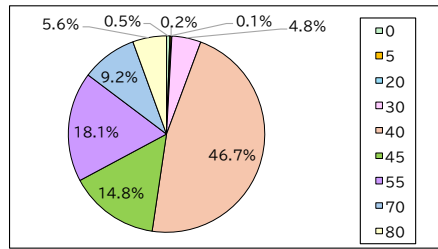
( I 労働時間 項目点(令和3年度)

範囲	件数	構成比
0	8	0.9%
5	1	0.1%
20	3	0.4%
30	27	3.2%
40	389	45.9%
45	138	16.3%
55	150	17.7%
70	82	9.7%
80	49	5.8%
計	847	100.0%



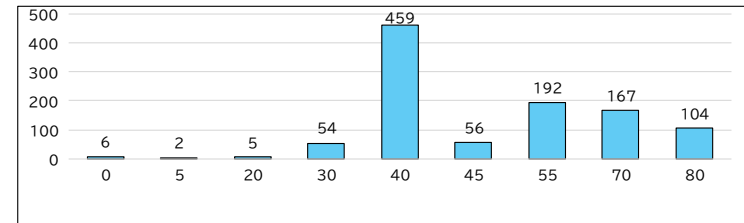
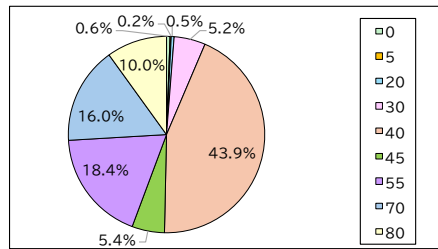
( I 労働時間 項目点(令和4年度)

範囲	件数	構成比
0	5	0.5%
5	2	0.2%
20	1	0.1%
30	44	4.8%
40	428	46.7%
45	136	14.8%
55	166	18.1%
70	84	9.2%
80	51	5.6%
計	917	100.0%



( I 労働時間 項目点(令和5年度)

範囲	件数	構成比
0	6	0.6%
5	2	0.2%
20	5	0.5%
30	54	5.2%
40	459	43.9%
45	56	5.4%
55	192	18.4%
70	167	16.0%
80	104	10.0%
計	1,045	100.0%

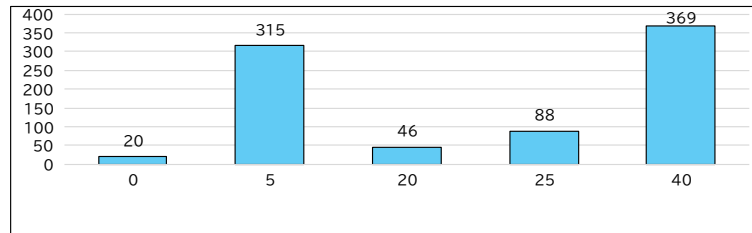
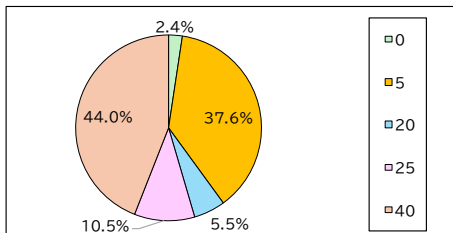


# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。(Ⅱ生産活動)

## ● 40点と5点に二極化

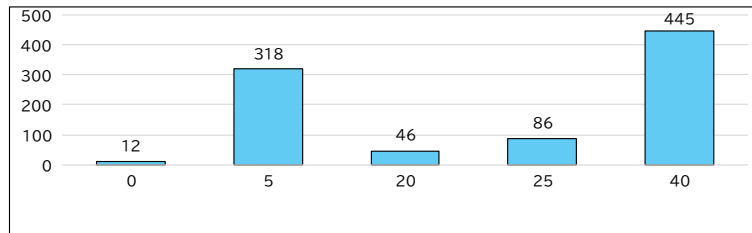
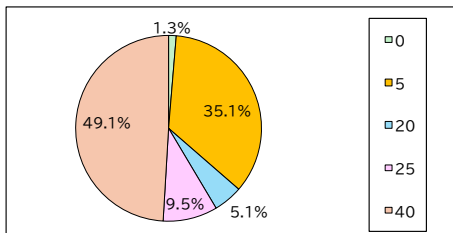
(Ⅱ)生産活動 項目点(令和3年度)

範囲	件数	構成比
0	20	2.4%
5	315	37.6%
20	46	5.5%
25	88	10.5%
40	369	44.0%
計	838	100.0%



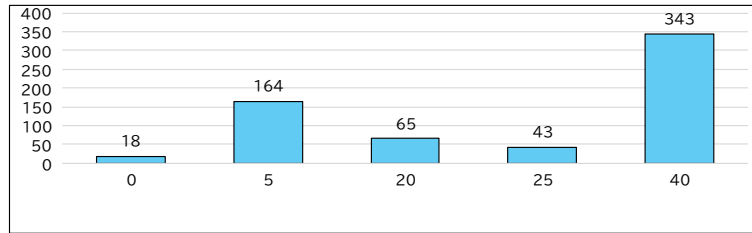
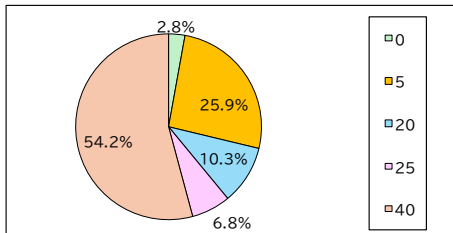
(Ⅱ)生産活動 項目点(令和4年度)

範囲	件数	構成比
0	12	1.3%
5	318	35.1%
20	46	5.1%
25	86	9.5%
40	445	49.1%
計	907	100.0%



(Ⅱ)生産活動 項目点(令和5年度)

範囲	件数	構成比
0	18	2.8%
5	164	25.9%
20	65	10.3%
25	43	6.8%
40	343	54.2%
計	633	100.0%



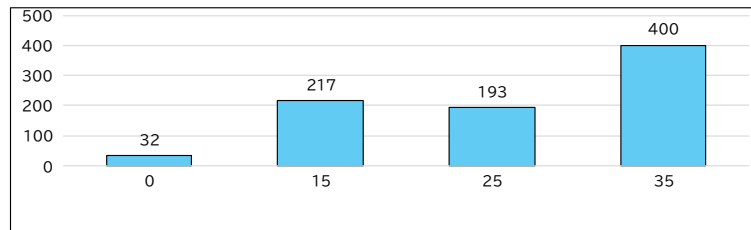
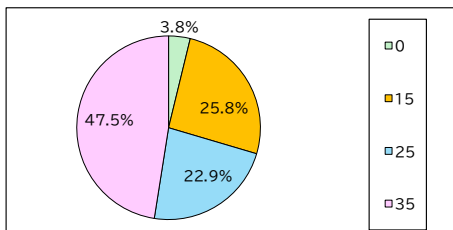


# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。(Ⅲ多様な働き方)

## ● 35点→R5年度に15点急増

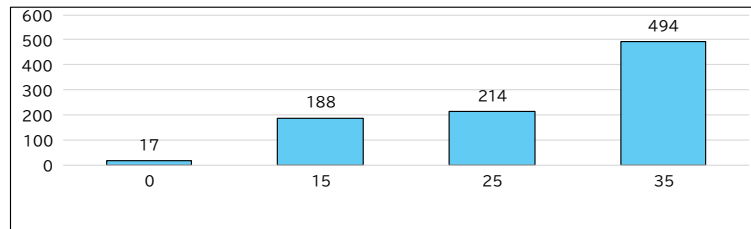
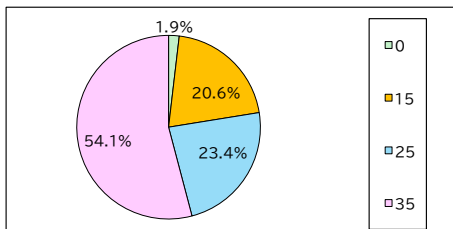
(Ⅲ)多様な働き方 項目点(令和3年度)

範囲	件数	構成比
0	32	3.8%
15	217	25.8%
25	193	22.9%
35	400	47.5%
計	842	100.0%



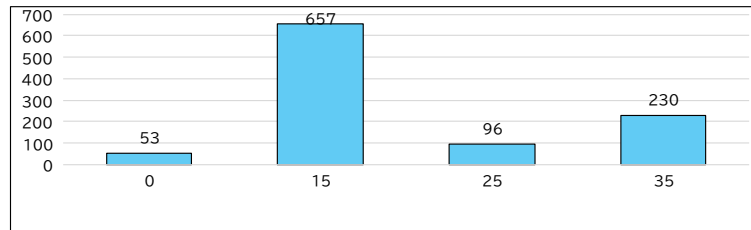
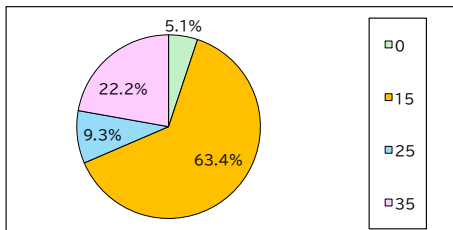
(Ⅲ)多様な働き方 項目点(令和4年度)

範囲	件数	構成比
0	17	1.9%
15	188	20.6%
25	214	23.4%
35	494	54.1%
計	913	100.0%



(Ⅲ)多様な働き方 項目点(令和5年度)

範囲	件数	構成比
0	53	5.1%
15	657	63.4%
25	96	9.3%
35	230	22.2%
計	1,036	100.0%

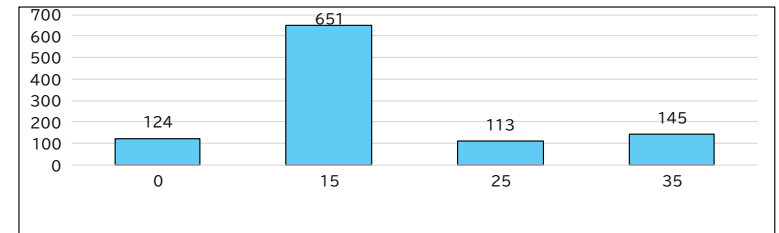
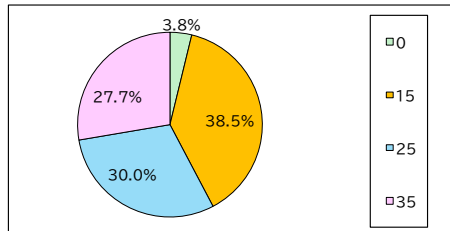


# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。(IV支援力向上)

## ● 15点

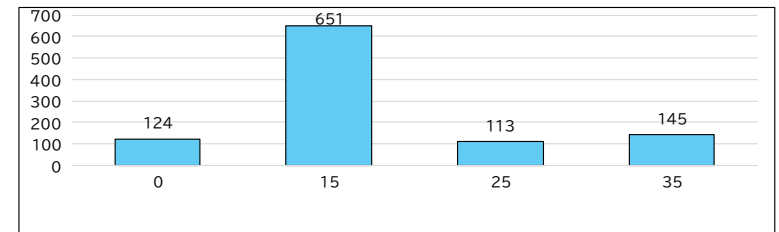
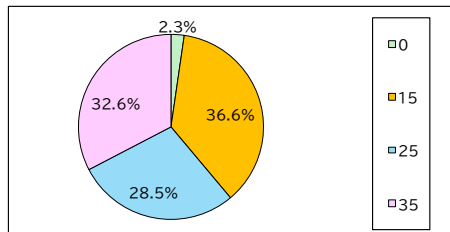
(IV)支援力向上 項目点 項目点(令和3年度)

範囲	件数	構成比
0	32	3.8%
15	324	38.5%
25	253	30.0%
35	233	27.7%
計	842	100.0%



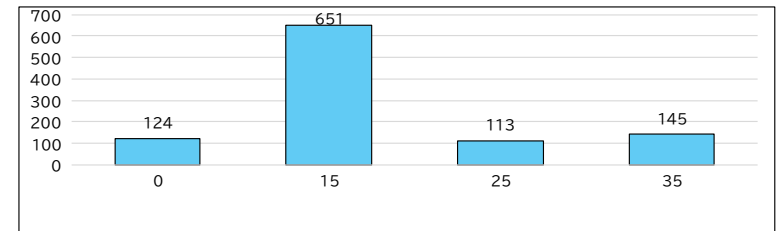
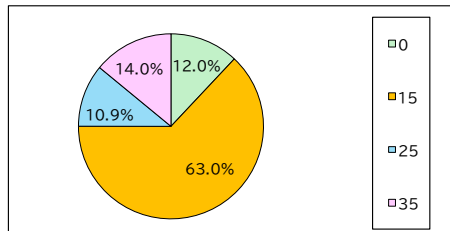
(IV)支援力向上 項目点 項目点(令和4年度)

範囲	件数	構成比
0	21	2.3%
15	334	36.6%
25	260	28.5%
35	298	32.6%
計	913	100.0%



(IV)支援力向上 項目点 項目点(令和5年度)

範囲	件数	構成比
0	124	12.0%
15	651	63.0%
25	113	10.9%
35	145	14.0%
計	1,033	100.0%

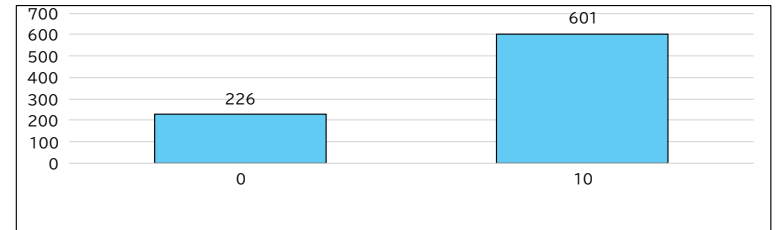
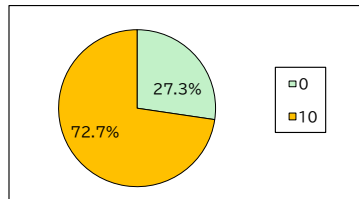


# Q23.直近3年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

## ● 10点

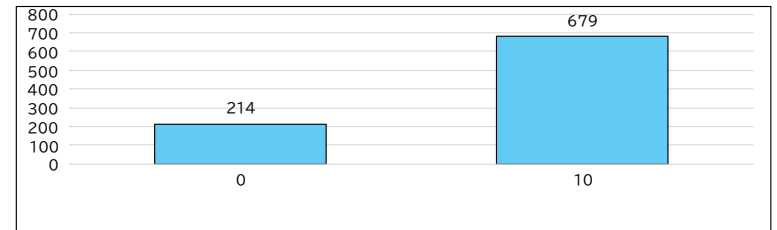
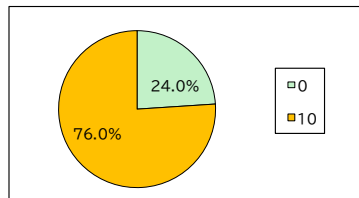
(V)地域連携活動 項目点(令和3年度)

範囲	件数	構成比
0	226	27.3%
10	601	72.7%
計	827	100.0%



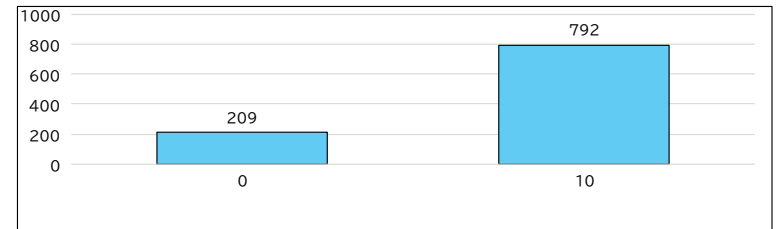
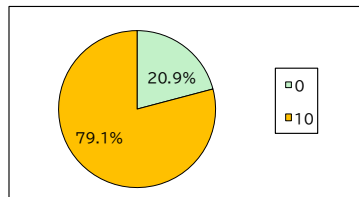
(V)地域連携活動 項目点(令和4年度)

範囲	件数	構成比
0	214	24.0%
10	679	76.0%
計	893	100.0%



(V)地域連携活動 項目点(令和5年度)

範囲	件数	構成比
0	209	20.9%
10	792	79.1%
計	1,001	100.0%



## 【ご参考】障害者就労に係る最近の動向について

### ● R5.3:50.7%→R6.3:37.4%?

#### 就労継続支援A型における生産活動の経営状況（令和6年3月末時点）

- 就労継続支援A型における生産活動の状況を確認したところ、生産活動の収益が利用者の賃金総額を下回っている<sup>(注)</sup>事業所は3,880事業所のうち1,453事業所（37.4%）

(注) 就労継続支援A型事業所については、平成29年度から「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準」（平成18年厚生労働省令第171号。以下「指定基準」という。）第192条第2項において、「生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額が、利用者に支払う賃金の総額以上となるようにしなければならない」とされている。指定事業者である自治体は、事業所の状況把握を行い、事業所が当該指定基準を満たしていない場合、経営改善計画書を提出させることとしている。

また、令和6年度報酬改定では、就労継続支援A型事業所の質の確保・向上を図るため、従来より指定基準において求めていたことに関して、生産活動収支が賃金総額を上回った場合を高く評価するとともに、下回った場合に厳しくする等の見直しを行った。

#### 【生産活動の経営状況】

指定事業所	経営状況を把握した事業所	指定基準を満たしていない事業所	
4,651	3,880	1,453	37.4%
(4,472)	(3,715)	(1,882)	(50.7%)

※1 令和6年3月末時点

※2 ( )内に前年度の状況(令和5年3月末時点)を記載

※3 指定基準を満たしていない事業所(1,453)のうち、経営改善計画書を提出している事業所は1,345事業所(提出率92.6%)

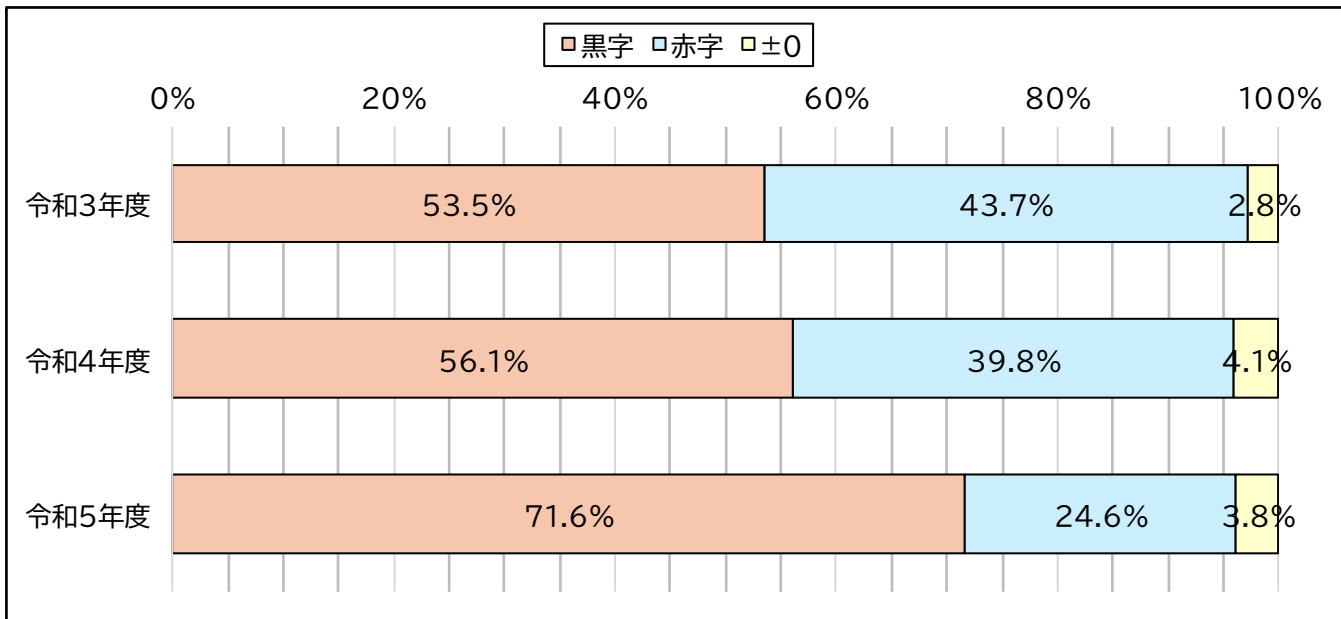
※4 指定基準を満たしていない事業所(1,453)のうち、令和5年3月末時点も指定基準を満たしていない事業所は1,089事業所(74.9%)

<資料> 社会保障審議会障害者部会(第145回)(R7.1.30)厚生労働省

Q24.直近3年度の生産活動収支額等について、お答えください。  
 (スコア公表様式2-2より転記)

- R3→R4→R5 と毎年黒字事業所の比率が増えている
- R5 黒字 71.6% 赤字 24.6%

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
黒字	455	53.5%	520	56.1%	710	71.6%
赤字	372	43.7%	369	39.8%	244	24.6%
±0	24	2.8%	38	4.1%	38	3.8%
計	851	100.0%	927	100.0%	992	100.0%



# R5→6のスコア

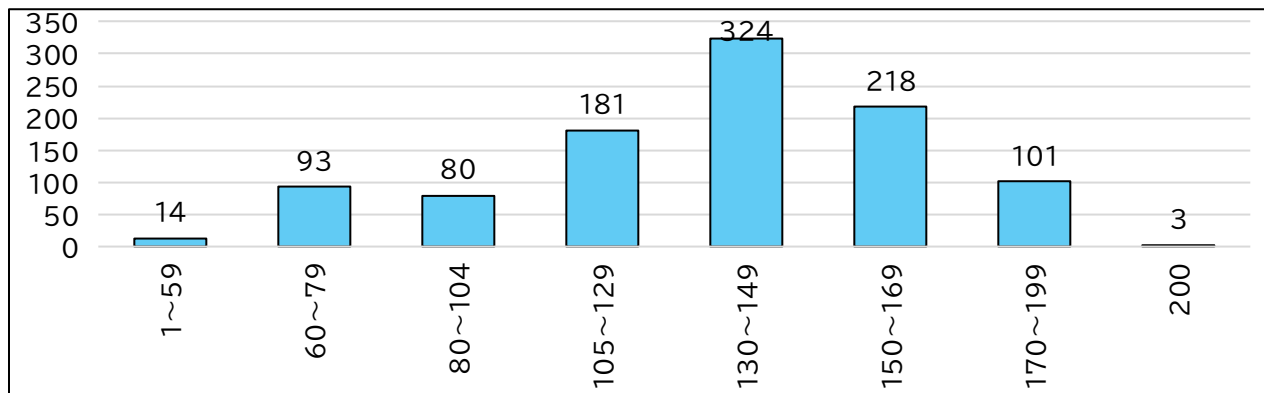
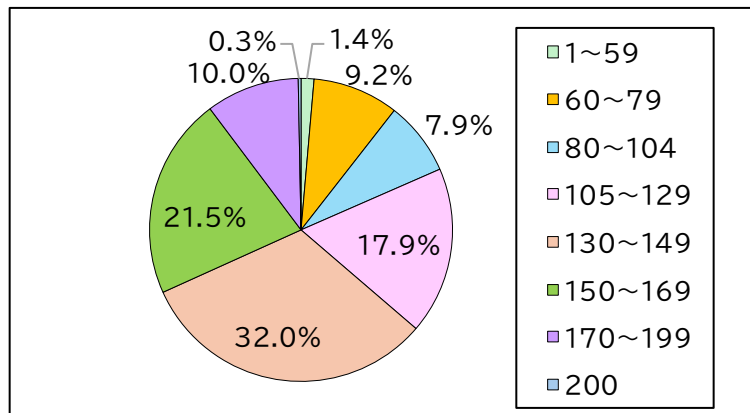
		R6																				総計																
		七				六				五				四				三					二				一											
R5		15	40	45	50	60	65	66	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185	190	200				
七	15	1																																		1		
	40		1			1					1													1												4		
	45			1								1																								2		
	50				2														3																	5		
	55			1														1																		2		
六	60					5			1	1	1	3				1		1	8			2		1												24		
	65						1			1																										2		
	70								4	1			1				1					4		1		1										13		
	75				1																															1		
五	80		1							2	1					1	2		2			1		2												12		
	85									1		13		3					2					1	1	1										24		
	90			1									3						1						1											7		
	95				1								1	3		1			1	1																8		
	100																	1				1														2		
四	105			1	1	14		1	7	1	2	3				10	6	2	7	1	8	3			1											69		
	110								1	1	1	3				3	15	3	7	2	9	2	3	1												52		
	115				1	6			18	2	1	3				1	4	9	7	1	9	1				2										65		
	120								1		4	1		1		1	3	4	16	1	12	2	4	2		2										54		
	125					4			8		1		1					1	3	9	8	1	3	1												41		
三	130					2			1		6		3	1		8	1	2			48	3	23	5	2	3										108		
	135									1		2				3		1			7	22	4	5	2	11	1	2								62		
	140								1		1		2			2	1				5	2	33	5	8	5	1									68		
	145																		1	1	4	1	1	13	2	8	1	1								34		
二	150									1				1							6	3	11	4	50	3	4	5	5							94		
	155																		1	1	2		1	4	3	37	2	11				3		1		66		
	160																					2	5	1	8	3	1	2				1		3		26		
	165																					1			1	4		15				2				23		
一	170																					1					3									29		
	175																								2	2		1									32	
	180																																				16	
	185																																				2	
	190																																				6	
	200																																				3	
総計		2	2	5	4	30	3	1	45	7	9	38	8	12	3	18	44	24	62	18	126	44	89	48	80	83	12	38	31	37	22	2	7	3				957

# Q25.令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

- R5までと比べ、105～129点が減り、60点以上～79点と130～149点が増えた

A型スコア合計点(令和6年度)

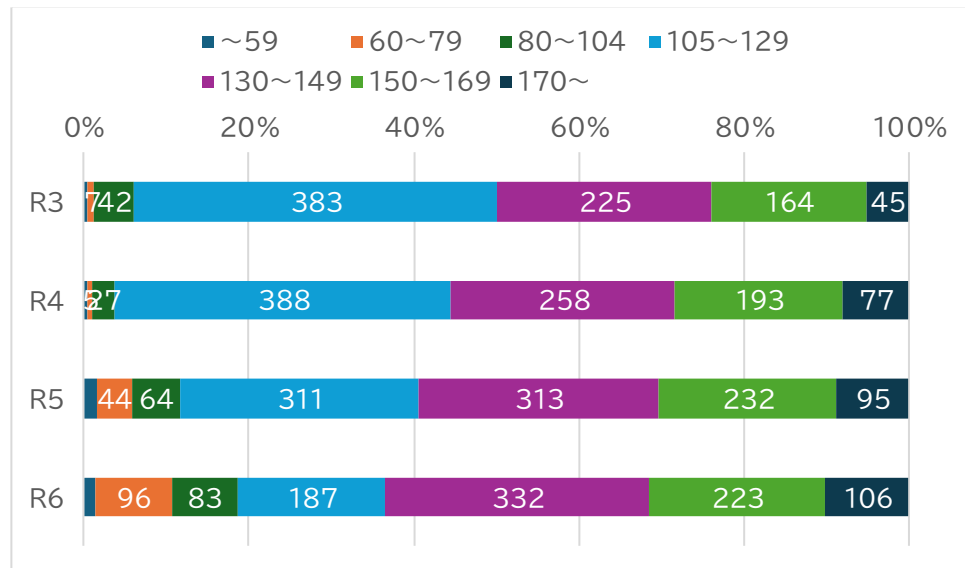
範囲	件数	構成比
1～59	14	1.4%
60～79	93	9.2%
80～104	80	7.9%
105～129	181	17.8%
130～149	324	31.9%
150～169	218	21.5%
170～199	101	10.0%
200	3	0.3%
計	1,015	100.0%



## Q25.令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。 ※経年比較

- 五以下(105点未満)が2割弱、四(105~129点)が2割弱、三(130~149点)が3割、二(150~169点)が2割、一(170点以上)が1割

範囲	R3	R4	R5	R6	(構成比)
~59	4	4	18	15	1.4%
60~79	7	5	44	96	9.2%
80~104	42	27	64	83	8.0%
105~129	383	388	311	187	17.9%
130~149	225	258	313	332	31.8%
150~169	164	193	232	223	21.4%
170~	45	77	95	106	10.2%
計	870	952	1,077	1,043	100.0%

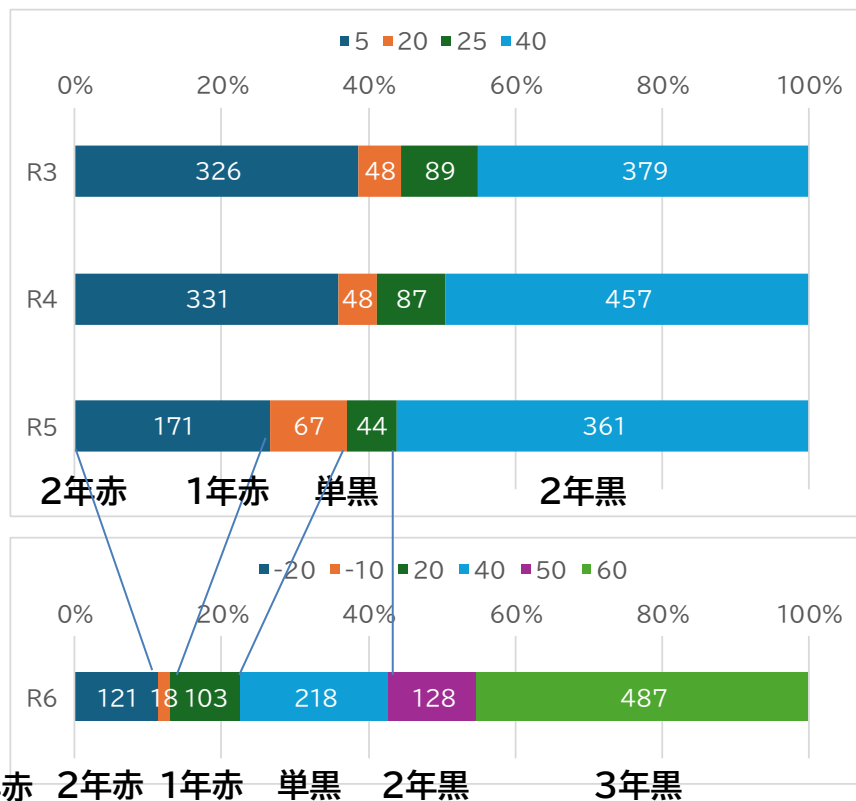




# Q25.令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。 ※(Ⅱ)生産活動

- R5年度単黒(40点)20.3% 黒字合計(40点以上)77.5%  
 ※R5年度単黒6.6%、2年黒54.5%

範囲	R3	R4	R5	(構成比)	範囲	R6	(構成比)
5	326	331	171	25.8%	-20	121	11.3%
20	48	48	67	10.1%	-10	18	1.7%
25	89	87	44	6.6%	20	103	9.6%
40	379	457	361	54.5%	40	218	20.3%
					50	128	11.9%
					60	487	45.3%
計	862	935	662	100.0%	計	1,075	100.0%



Q25.令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。 ※(Ⅱ)生産活動

- R5:5点→R6:40点 56件(9.5%)  
→1割も急に経営改善するのか?  
※R3:5点→R4:5点→R5:5点→R6:40点 46件

	-20	-10	20	40	50	60	総計
5	84	6	11	56		1	158
20	7	1	20	22	2	1	53
25			6	6	29	5	46
40			21	81	65	165	332
総計	91	7	58	165	96	172	589

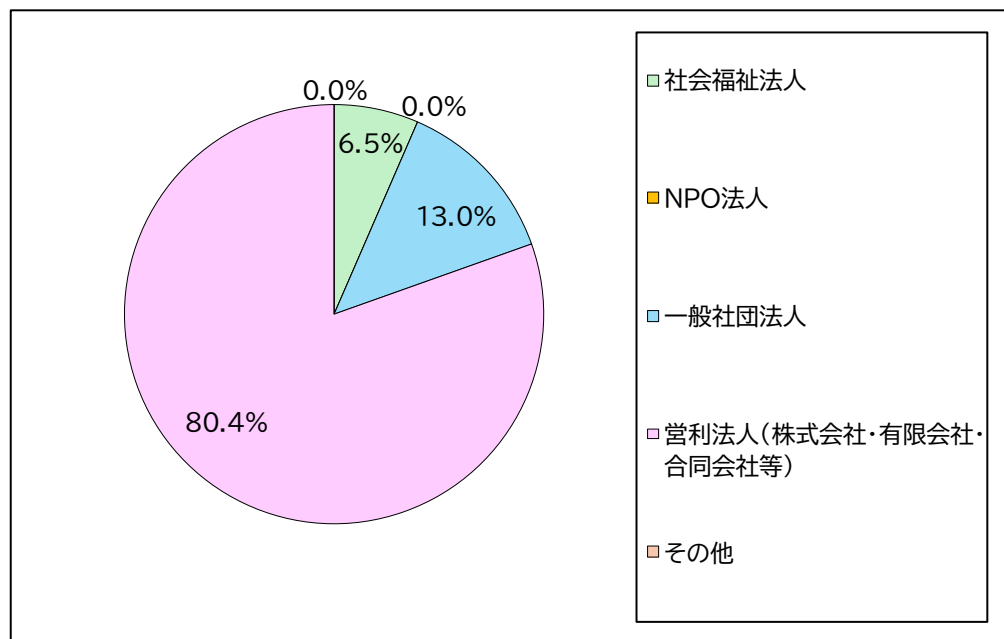
	-20	-10	20	40	50	60	総計
5	14.3%	1.0%	1.9%	9.5%	0.0%	0.2%	26.8%
20	1.2%	0.2%	3.4%	3.7%	0.3%	0.2%	9.0%
25	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	4.9%	0.8%	7.8%
40	0.0%	0.0%	3.6%	13.8%	11.0%	28.0%	56.4%
総計	15.4%	1.2%	9.8%	28.0%	16.3%	29.2%	100.0%

## 【ご参考】該当46件

### ● 営利法人37件(80.4%)

#### Q3. 運営法人の法人格 ※

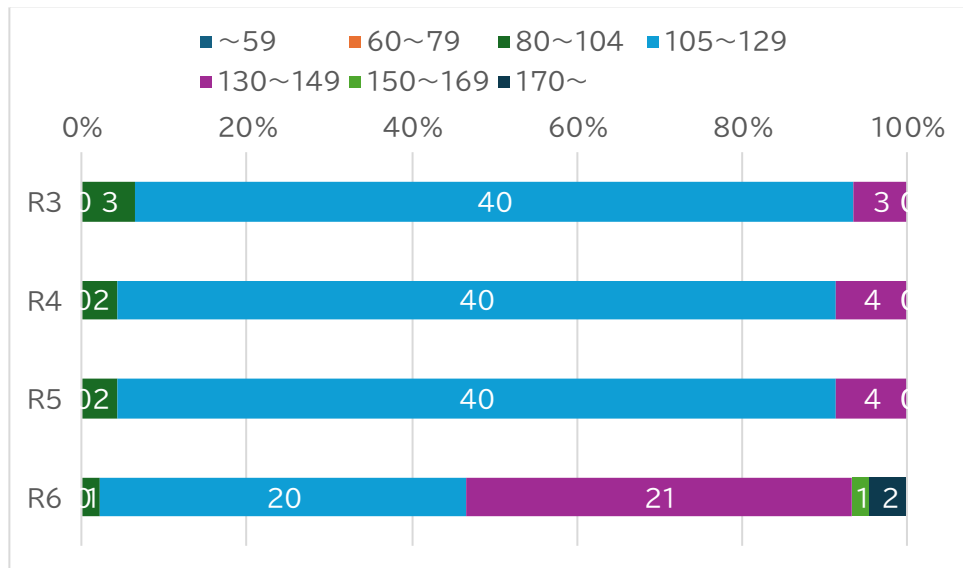
回答	件数	構成比
社会福祉法人	3	6.5%
NPO法人	0	0.0%
一般社団法人	6	13.0%
営利法人(株式会社・有限会社・ 合同会社等)	37	80.4%
その他	0	0.0%
計	46	100.0%
無回答	0	



## 【ご参考】該当46件

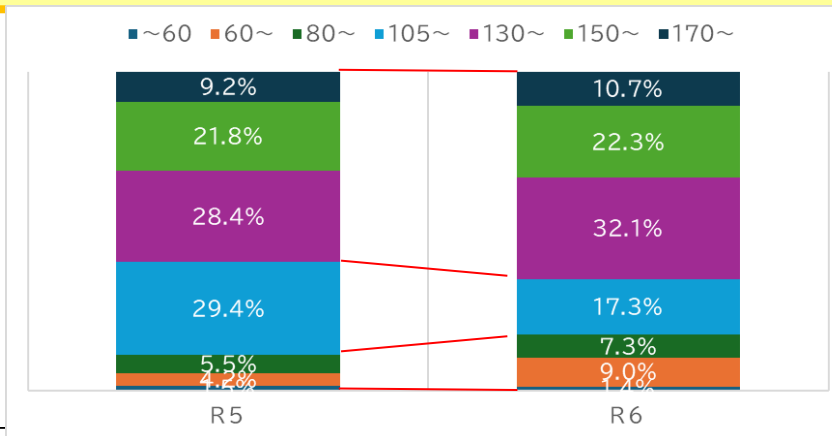
- 四:20件(44.4%)、三:21件(46.7%)

範囲	R3	R4	R5	R6	(構成比)
~59	0	0	0	0	0.0%
60~79	0	0	0	0	0.0%
80~104	3	2	2	1	2.2%
105~129	40	40	40	20	44.4%
130~149	3	4	4	21	46.7%
150~169	0	0	0	1	2.2%
170~	0	0	0	2	4.4%
計	46	46	46	45	100.0%



# R5→6のスコア

- 良くなった所／悪くなった所で二極化
- 四(105~140)が三(130~150)と六(60~80)に
- 六に下がったところは、ほとんど生産活動収支が-20pt



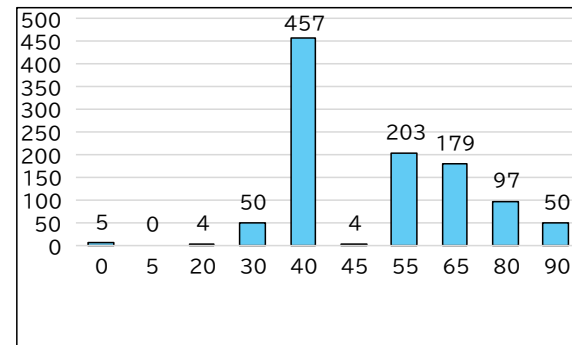
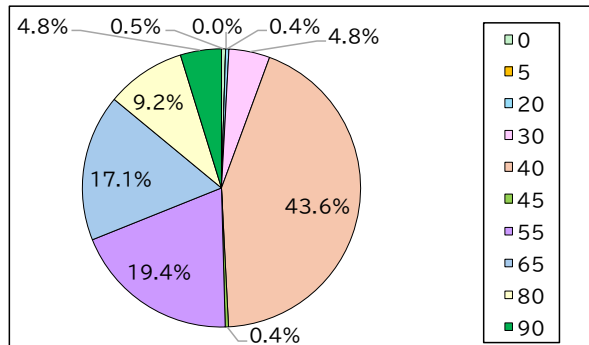
R6		~60	60~	80~	105~	130~	150~	170~
R5	~60	0.6%	0.1%	0.2%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
	60~	0.1%	1.5%	0.5%	1.1%	0.8%	0.1%	0.0%
	80~	0.3%	0.3%	2.5%	1.3%	0.7%	0.3%	0.1%
	105~	0.3%	6.7%	2.2%	12.1%	7.2%	0.5%	0.3%
	130~	0.0%	0.4%	1.7%	2.2%	18.9%	4.9%	0.3%
	150~	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	4.2%	15.6%	1.7%
	170~	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.8%	8.3%

# Q25.令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

● 労働時間:40点43.6%、生産活動:60点45%

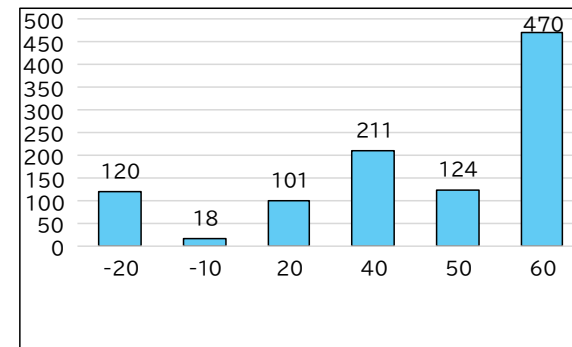
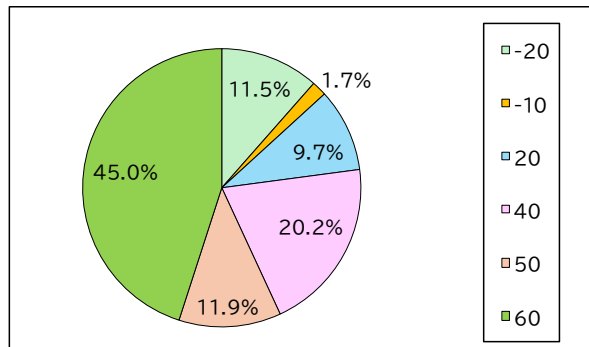
(Ⅰ)労働時間 項目点

範囲	件数	構成比
0	5	0.5%
5	0	0.0%
20	4	0.4%
30	50	4.8%
40	457	43.6%
45	4	0.4%
55	203	19.4%
65	179	17.1%
80	97	9.2%
90	50	4.8%
計	1,049	100.0%



(Ⅱ)生産活動 項目点度

範囲	件数	構成比
-20	120	11.5%
-10	18	1.7%
20	101	9.7%
40	211	20.2%
50	124	11.9%
60	470	45.0%
計	1,044	100.0%

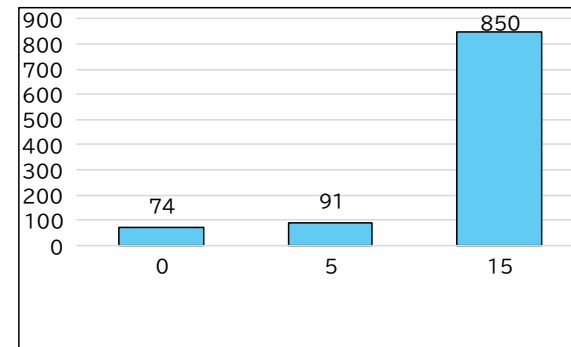
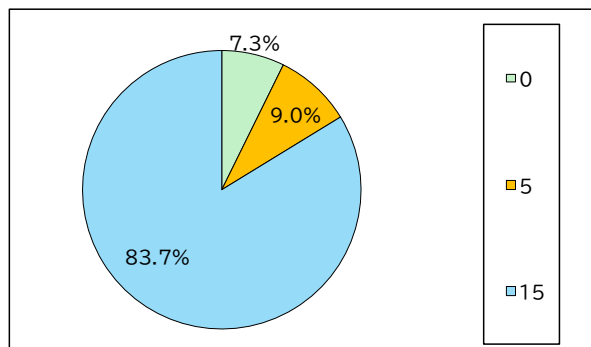


# Q25.令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

- 多様な働き方:15点83.7%、支援力向上:15点47.1%

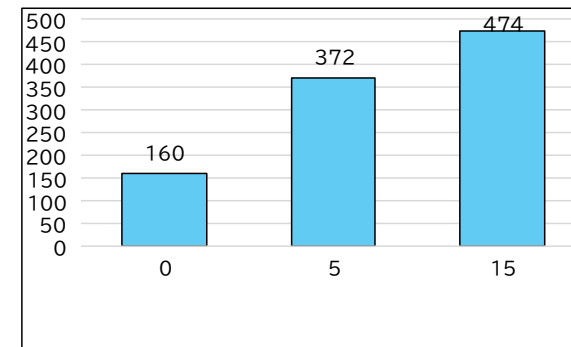
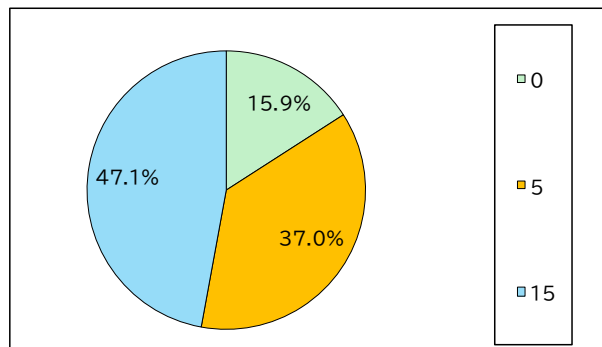
(Ⅲ)多様な働き方 項目点

範囲	件数	構成比
0	74	7.3%
5	91	9.0%
15	850	83.7%
計	1,015	100.0%



(Ⅳ)支援力向上 項目点 項目点

範囲	件数	構成比
0	160	15.9%
5	372	37.0%
15	474	47.1%
計	1,006	100.0%

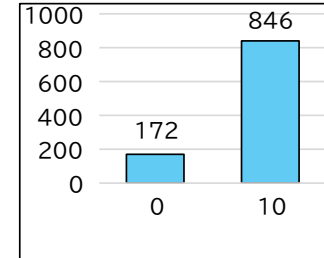
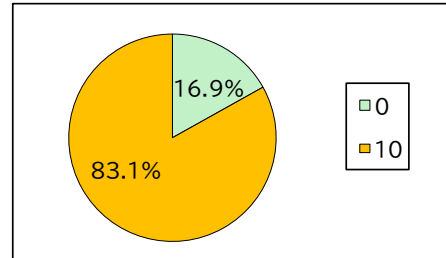


# Q25.令和6年度の判定スコアについて、合計点及び各項目の点数をお答えください。

## ● 地域連携83.1%、経営改善計画99.7%、利用者69.9%

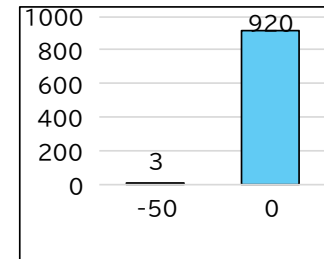
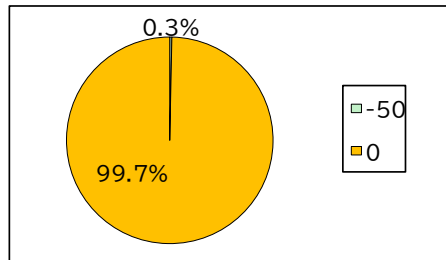
(V)地域連携活動 項目点

範囲	件数	構成比
0	172	16.9%
10	846	83.1%
計	1,018	100.0%



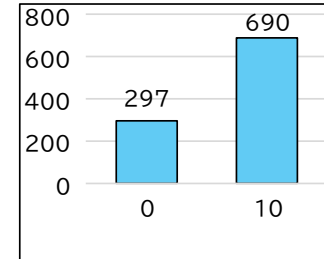
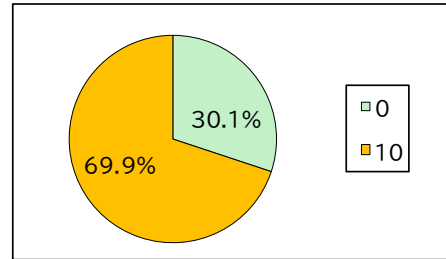
(VI)経営改善計画 項目点

範囲	件数	構成比
-50	3	0.3%
0	920	99.7%
計	923	100.0%



(VII)利用者の知識向上・能力向上 項目点

範囲	件数	構成比
0	297	30.1%
10	690	69.9%
計	987	100.0%



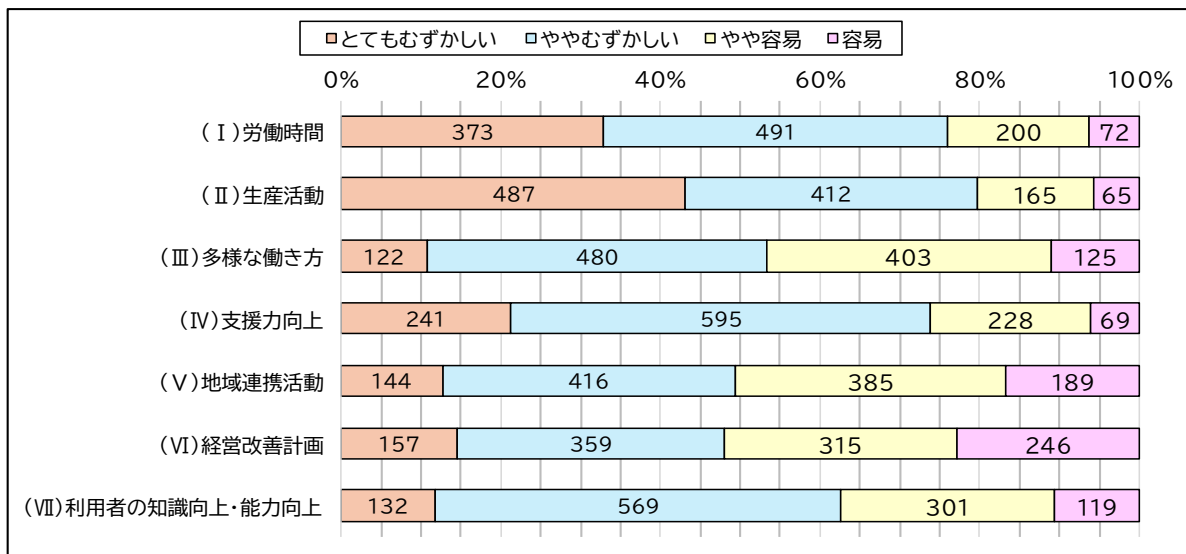


# Q26. (I)～(VII)の各項目について、現在の貴事業所において、各項目に設定されている上位の(高い)スコアを取ることの難易度はどの程度ありますか。

## ● 生産活動、労働時間、支援力向上が難易度高い

Q26. (I)～(VII)の各項目について、現在の貴事業所において、各項目に設定されている上位の(高い)スコアを取ることの難易度はどの程度ありますか。

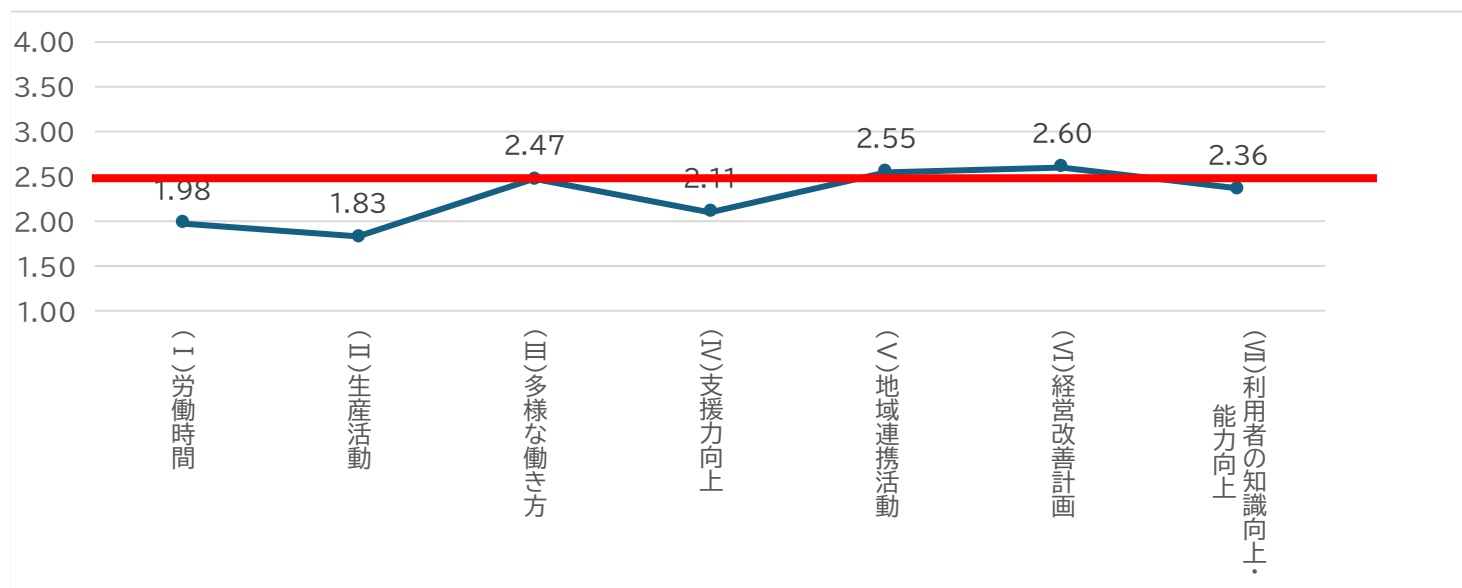
	(I)労働時間	(II)生産活動	(III)多様な働き方	(IV)支援力向上	(V)地域連携活動	(VI)経営改善計画	(VII)利用者の知識向上・能力向上
とてもむずかしい	373	487	122	241	144	157	132
ややむずかしい	491	412	480	595	416	359	569
やや容易	200	165	403	228	385	315	301
容易	72	65	125	69	189	246	119
計	1,136	1,129	1,130	1,133	1,134	1,077	1,121



Q26. (Ⅰ)～(Ⅶ)の各項目について、現在の貴事業所において、各項目に設定されている上位の(高い)スコアを取ることの難易度はどの程度ありますか。

- 加重平均(4点満点、平均2.5点、高い方が容易)  
→(Ⅱ)生産活動1.83pt、(Ⅰ)労働時間1.98pt

	(Ⅰ)労働時間	(Ⅱ)生産活動	(Ⅲ)多様な働き方	(Ⅳ)支援力向上	(Ⅴ)地域連携活動	(Ⅵ)経営改善計画	(Ⅶ)利用者の知識向上・能力向上
加重平均	1.98	1.83	2.47	2.11	2.55	2.60	2.36

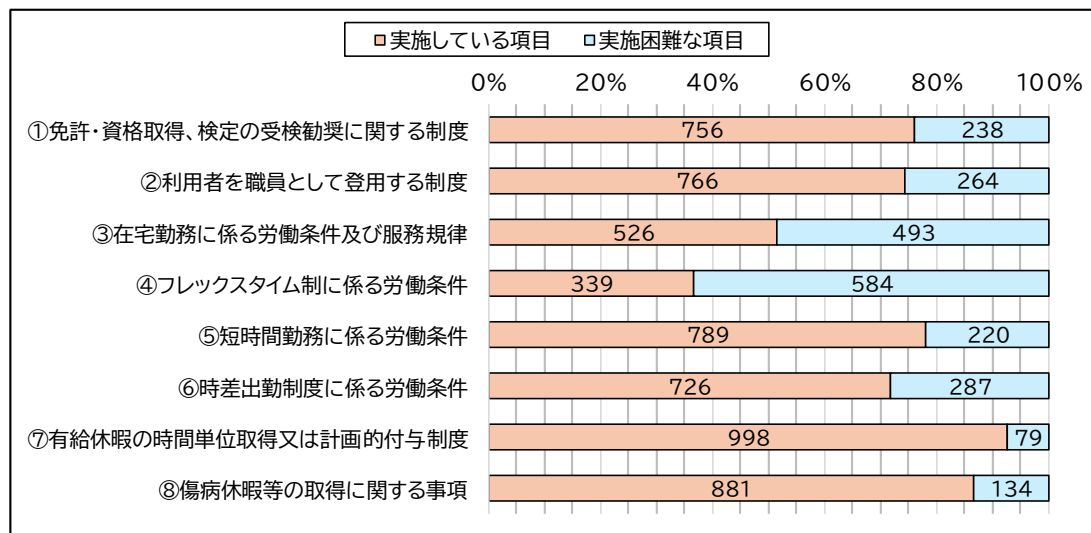


Q26-1.上記項目(Ⅲ)及び(Ⅳ)の詳細項目について、実施している項目をお答えください。また、貴事業所で実施することが困難だと感じる項目にチェックを入れてください。

● 有給休暇が難しい

上記項目(Ⅲ)及び(Ⅳ)の詳細項目について、実施している項目をお答えください。また、貴事業所で実施することが困難だと感じる項目にチェックを入れてください。

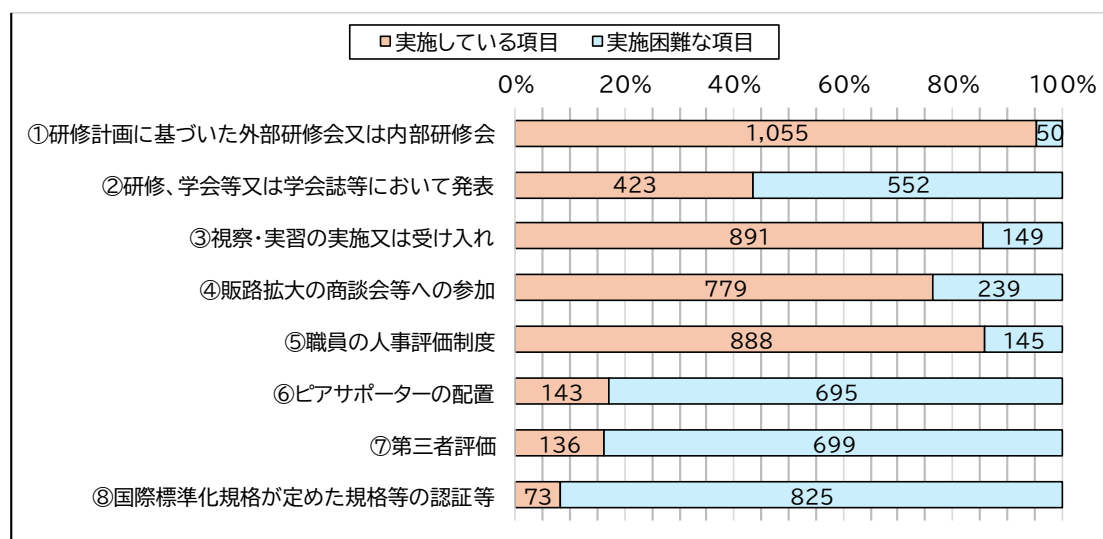
(Ⅲ)多様な働き方	実施している項目	実施困難な項目
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	756	238
②利用者を職員として登用する制度	766	264
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	526	493
④フレックスタイム制に係る労働条件	339	584
⑤短時間勤務に係る労働条件	789	220
⑥時差出勤制度に係る労働条件	726	287
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	998	79
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	881	134



# Q26-1つづき

## ● 研修、職員の人事評価、視察・実習の実施または受入

(IV) 支援力向上	実施している項目	実施困難な項目
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	1055	50
②研修、学会等又は学会誌等において発表	423	552
③視察・実習の実施又は受け入れ	891	149
④販路拡大の商談会等への参加	779	239
⑤職員の人事評価制度	888	145
⑥ピアサポーターの配置	143	695
⑦第三者評価	136	699
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	73	825

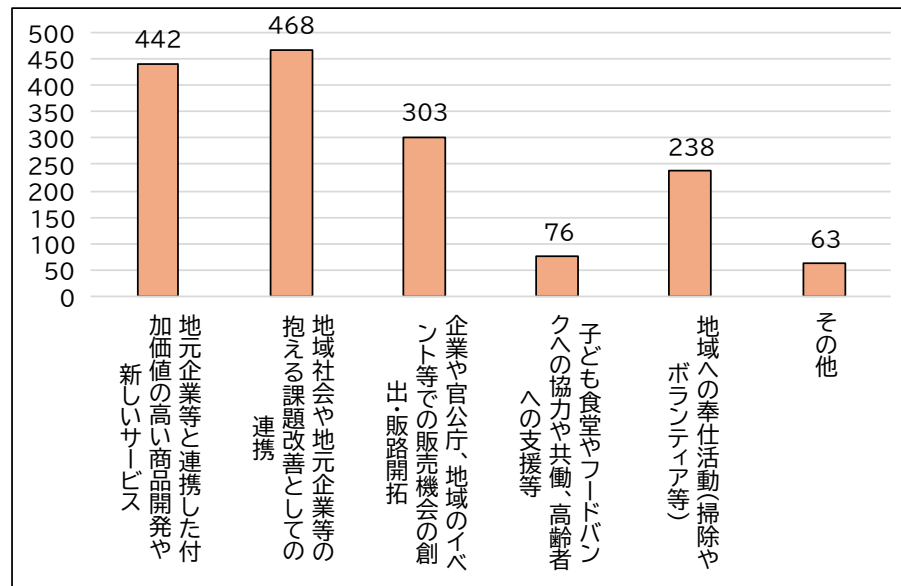


## Q27. (V)地域連携活動として、どのような活動を行っていますか。

### ● 課題改善としての連携468件(33.2%)

Q27. (V)地域連携活動として、どのような活動を行っていますか。

回答	全体	
	件数	構成比
地元企業等と連携した付加価値の高い商品開発や新しいサービス	442	31.3%
地域社会や地元企業等の抱える課題改善としての連携	468	33.2%
企業や官公庁、地域のイベント等での販売機会の創出・販路開拓	303	21.5%
子ども食堂やフードバンクへの協力や共働、高齢者への支援等	76	5.4%
地域への奉仕活動(掃除やボランティア等)	238	16.9%
その他	63	4.5%
計	1,410	112.8%

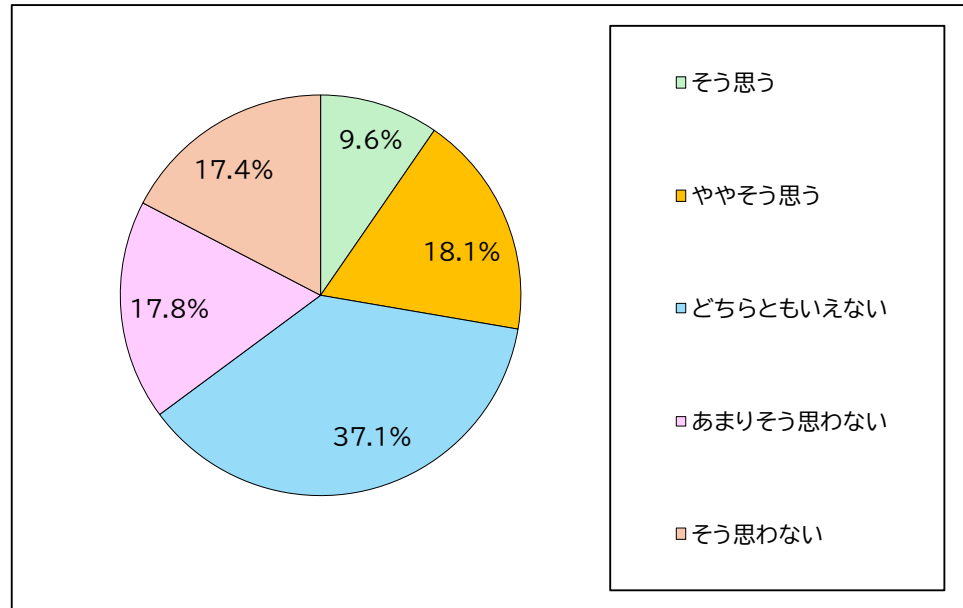


## Q28.スコア方式は、A型の報酬算定方法として適切だと思いますか。

- 肯定的27.7%(9.6%+18.1%)、否定的35.2%(17.8%+17.4%)

Q28. スコア方式は、A型の報酬算定方法として適切だと思いますか。

回答	件数	構成比
そう思う	120	9.6%
ややそう思う	226	18.1%
どちらともいえない	464	37.1%
あまりそう思わない	222	17.8%
そう思わない	217	17.4%
計	1,249	100.0%
無回答	80	

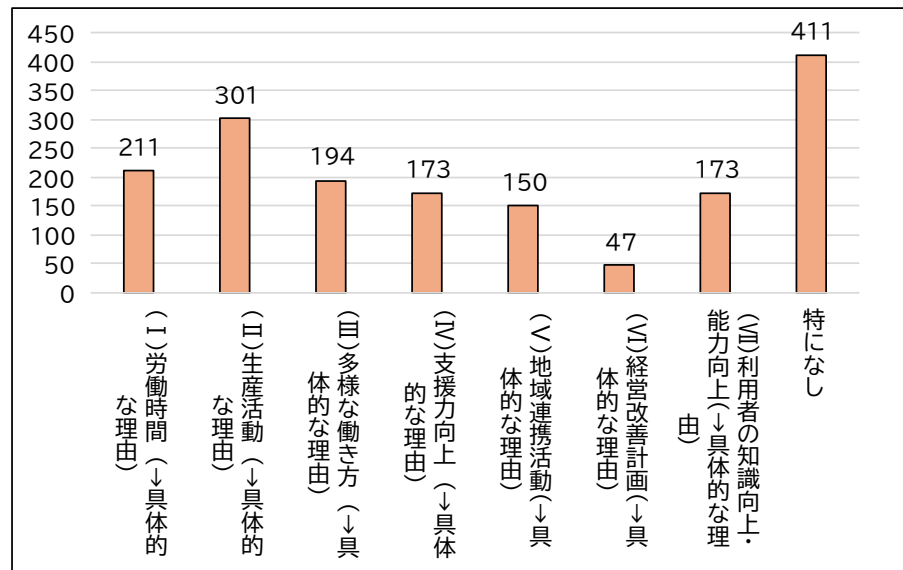


# Q29. (I)~(VII)の項目のうち、貴事業所として「重点的に評価してほしい」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

## ● 特になし411件(29.1%)

Q29. (I)~(VII)の項目のうち、貴事業所として「重点的に評価してほしい」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

回答	全体	
	件数	構成比
(I)労働時間(→具体的な理由)	211	15.0%
(II)生産活動(→具体的な理由)	301	21.3%
(III)多様な働き方(→具体的な理由)	194	13.8%
(IV)支援力向上(→具体的な理由)	173	12.3%
(V)地域連携活動(→具体的な理由)	150	10.6%
(VI)経営改善計画(→具体的な理由)	47	3.3%
(VII)利用者の知識向上・能力向上(→具体的な理由)	173	12.3%
特になし	411	29.1%
計	1,410	

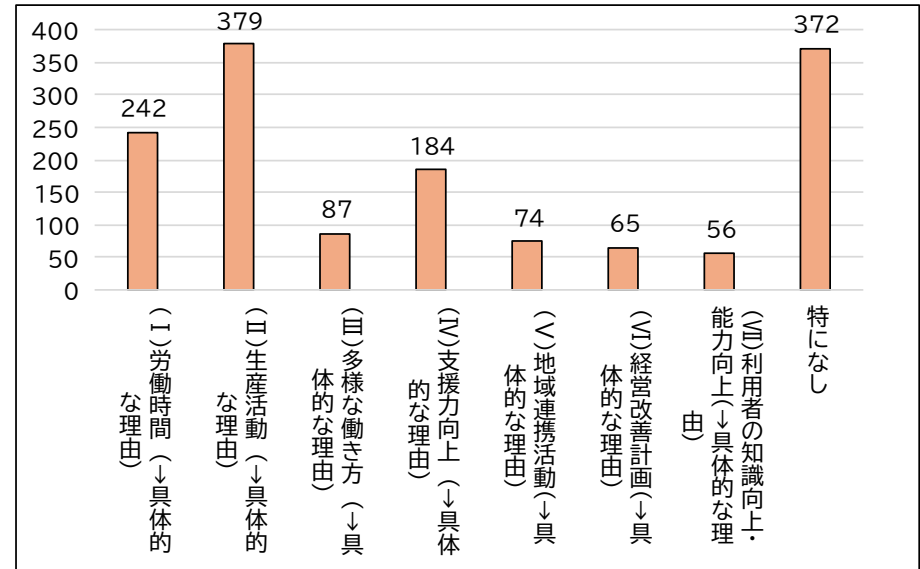


# Q30. (I)~(VII)の項目のうち、貴事業所として「見直しが必要だと思う」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

## ● (II)生産活動379件(26.9%)

Q30. (I)~(VII)の項目のうち、貴事業所として「見直しが必要だと思う」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

回答	全体	
	件数	構成比
(I)労働時間(→具体的な理由)	242	17.2%
(II)生産活動(→具体的な理由)	379	26.9%
(III)多様な働き方(→具体的な理由)	87	6.2%
(IV)支援力向上(→具体的な理由)	184	13.0%
(V)地域連携活動(→具体的な理由)	74	5.2%
(VI)経営改善計画(→具体的な理由)	65	4.6%
(VII)利用者の知識向上・能力向上(→具体的な理由)	56	4.0%
特になし	372	26.4%
計	1,410	



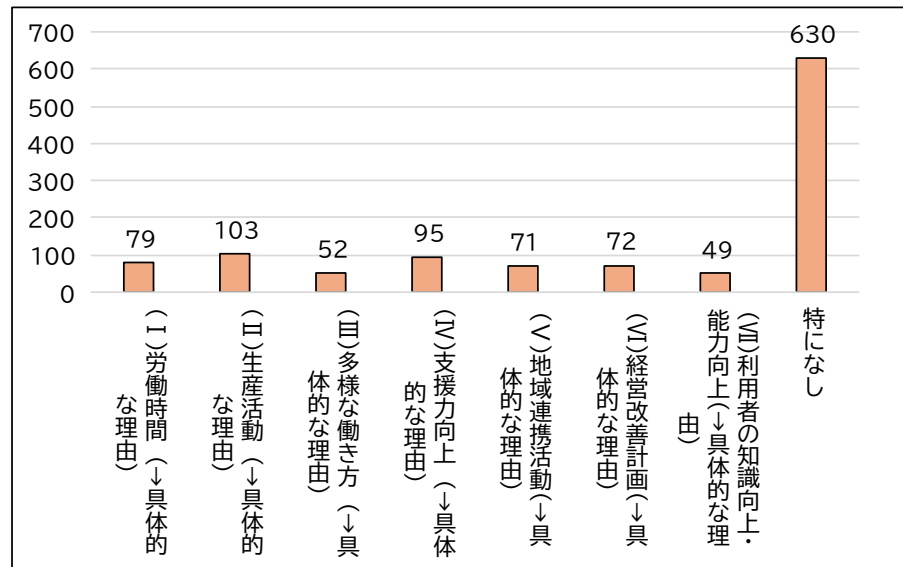


# Q31. (I)～(VII)の項目のうち、貴事業所として「不要だと思う」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

## ● 特になし630件(44.7%)

Q31. (I)～(VII)の項目のうち、貴事業所として「不要だと思う」項目があれば、具体的な理由とあわせてお答えください。

回答	全体	
	件数	構成比
(I)労働時間(→具体的な理由)	79	5.6%
(II)生産活動(→具体的な理由)	103	7.3%
(III)多様な働き方(→具体的な理由)	52	3.7%
(IV)支援力向上(→具体的な理由)	95	6.7%
(V)地域連携活動(→具体的な理由)	71	5.0%
(VI)経営改善計画(→具体的な理由)	72	5.1%
(VII)利用者の知識向上・能力向上(→具体的な理由)	49	3.5%
特になし	630	44.7%
計	1,410	

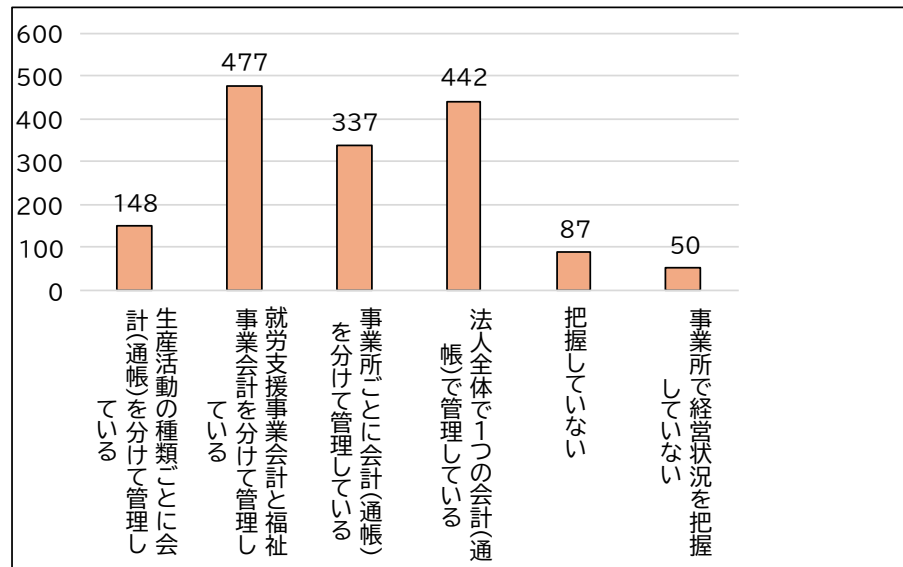


# Q33.貴事業所において、会計・経理はどのように管理していますか？

## ● 「就労会計と福祉事業会計を分けて管理」447件(33.8%)

Q33. 貴事業所において、会計・経理はどのように管理していますか？

回答	全体	
	件数	構成比
生産活動の種類ごとに会計(通帳)を分けて管理している	148	10.5%
就労支援事業会計と福祉事業会計を分けて管理している	477	33.8%
事業所ごとに会計(通帳)を分けて管理している	337	23.9%
法人全体で1つの会計(通帳)で管理している	442	31.3%
把握していない	87	6.2%
事業所で経営状況を把握していない	50	3.5%
計	1,410	

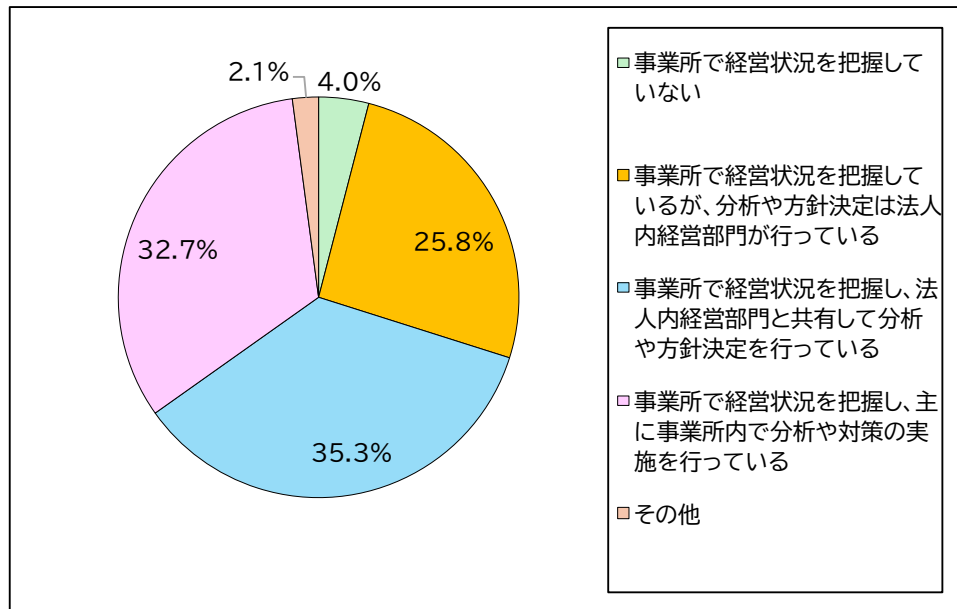


## Q34.貴事業所の経営状況の把握・分析はどのように行っていますか。

### ● 経営部門と共有して分析437件(35.3%)

Q34. 貴事業所の経営状況の把握・分析はどのように行っていますか。

回答	件数	構成比
事業所で経営状況を把握していない	50	4.0%
事業所で経営状況を把握しているが、分析や方針決定は法人内経営部門が行っている	320	25.8%
事業所で経営状況を把握し、法人内経営部門と共有して分析や方針決定を行っている	437	35.3%
事業所で経営状況を把握し、主に事業所内で分析や対策の実施を行っている	405	32.7%
その他	26	2.1%
計	1,238	100.0%
無回答	91	

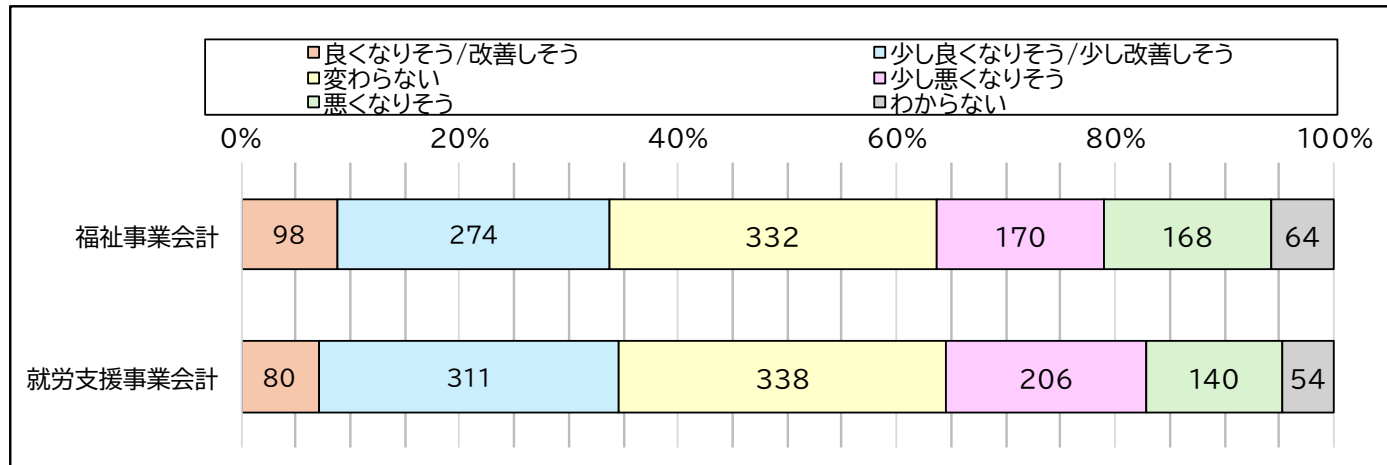


# Q35.令和5年度と比較して、令和6年度の貴事業所の各会計の収支状況はどうなると見込まれますか。

## ● 就労支援事業会計:良くなる80+少し良くなる311件

Q35. 令和5年度と比較して、令和6年度の貴事業所の各会計の収支状況はどうなると見込まれます

	福祉事業会計	就労支援事業会計
良くなりそう/改善しそう	98	80
少し良くなりそう/少し改善しそう	274	311
変わらない	332	338
少し悪くなりそう	170	206
悪くなりそう	168	140
わからない	64	54
計	1,106	1,129

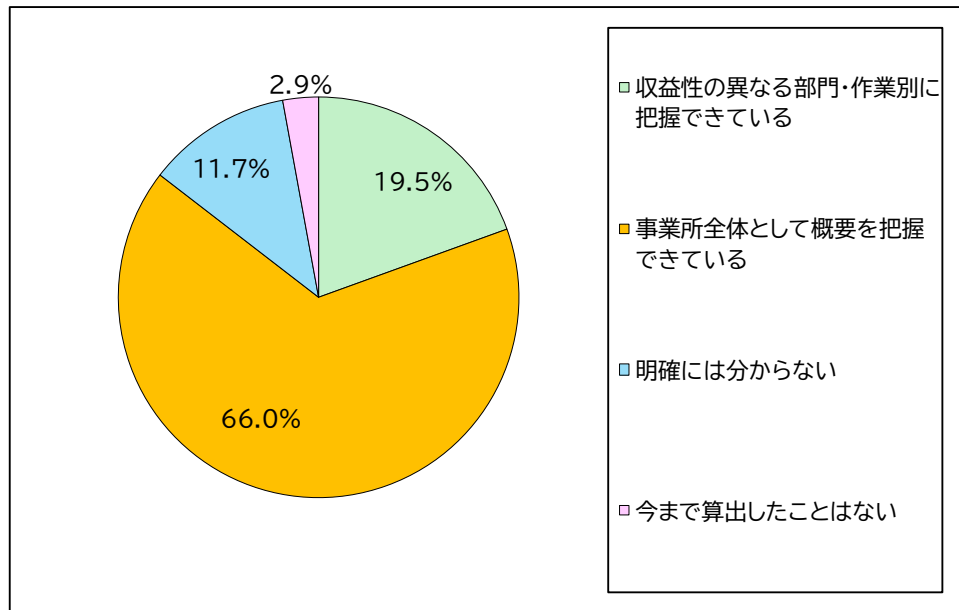


# Q36.貴事業所において、賃金を支払うための損益分岐点売上高は把握されていますか？

## ● 事業所全体として把握803件(66.0%)

Q36. 貴事業所において、賃金を支払うための損益分岐点売上高は把握されていますか？

回答	件数	構成比
収益性の異なる部門・作業別に把握できている	237	19.5%
事業所全体として概要を把握できている	803	66.0%
明確には分からない	142	11.7%
今まで算出したことはない	35	2.9%
計	1,217	100.0%
無回答	112	

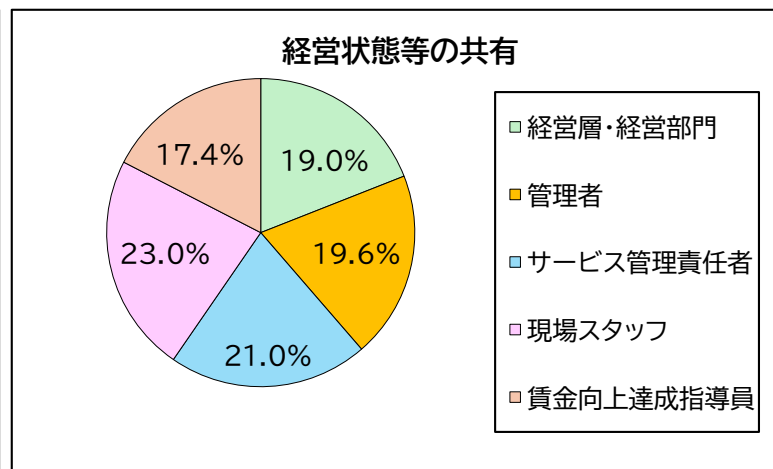
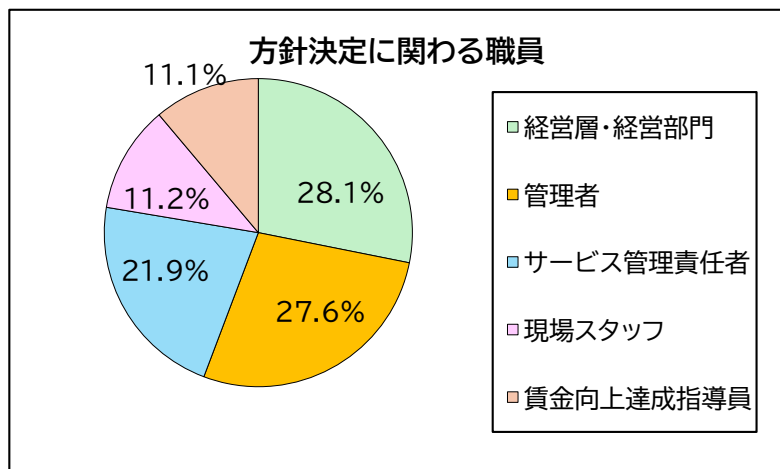


# Q37. 貴事業所の経営状況の改善(向上)に係る方針決定に関わっている職員、また経営状態や財務書類等について、どの職員まで共有しているか、お答えください。

- 現場スタッフ、賃金向上達成指導員には経営状態の共有までに留まることが多い

Q37. 貴事業所の経営状況の改善(向上)に係る方針決定に関わっている職員、また経営状態や財務書類等について、どの職員まで共有しているか、お答えください。

	経営層・経営部門	管理者	サービス管理責任者	現場スタッフ	賃金向上達成指導員
方針決定に関わる職員	697	684	542	278	276
経営状態等の共有	444	458	489	536	407
計	1,141	1,142	1,031	814	683

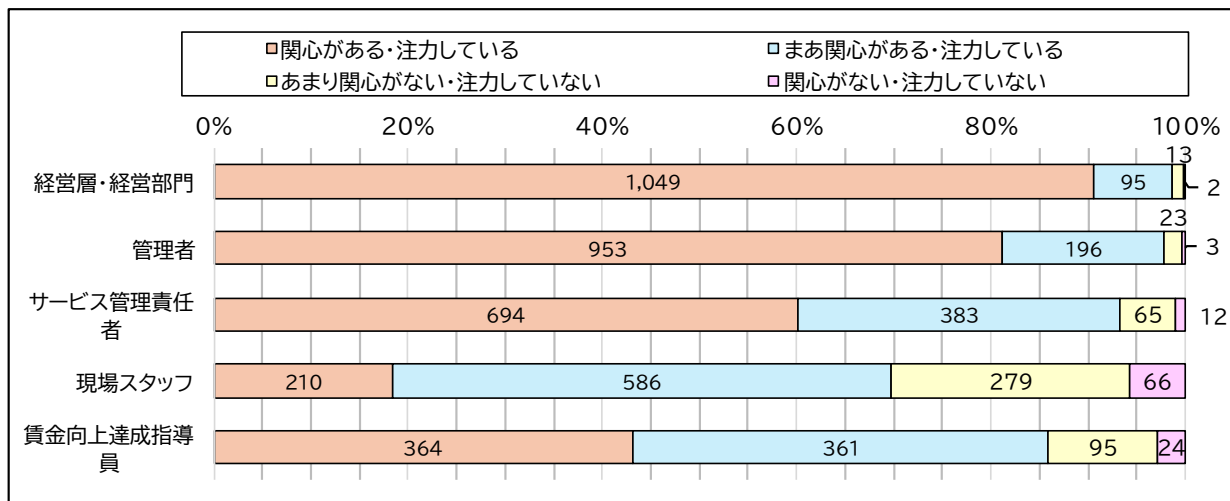


# Q38. Q37の各職員について、経営状況の改善(向上)に対する関心・注力の度合いをお答えください。

## ● 立場に応じて、経営改善に対する関心・注力度は大幅に異なる

Q38. Q37の各職員について、経営状況の改善(向上)に対する関心・注力の度合いをお答えください。

	経営層・経営部門	管理者	サービス管理責任者	現場スタッフ	賃金向上達成指導員
関心がある・注力している	1,049	953	694	210	364
まあ関心がある・注力している	95	196	383	586	361
あまり関心がない・注力していない	13	23	65	279	95
関心がない・注力していない	2	3	12	66	24
計	1,159	1,175	1,154	1,141	844

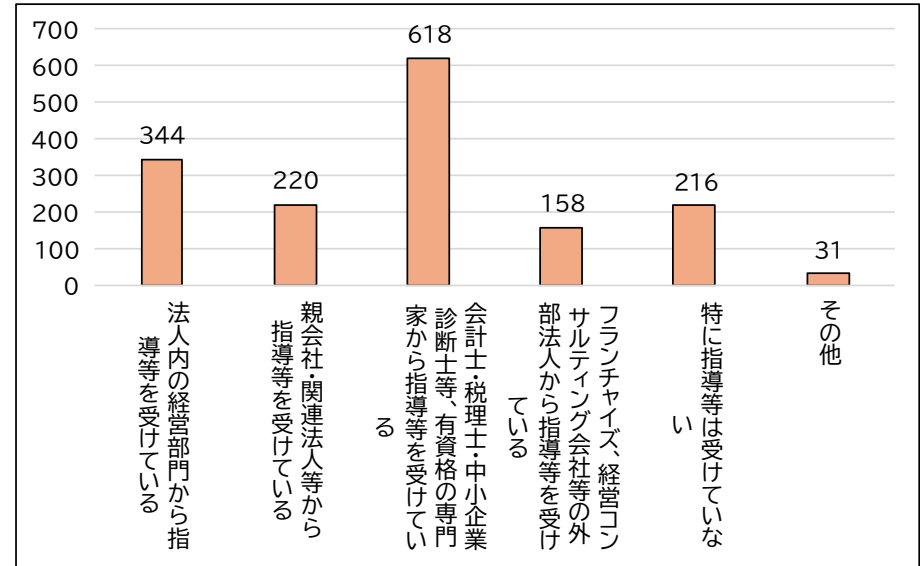


# Q39.貴事業所の経営・運営に関し、事業所外からアドバイスや指導等を受けていますか。

## ● 会計士等有資格者618件(43.8%)

Q39. 貴事業所の経営・運営に関し、事業所外からアドバイスや指導等を受けていますか。

回答	全体	
	件数	構成比
法人内の経営部門から指導等を受けている	344	24.4%
親会社・関連法人等から指導等を受けている	220	15.6%
会計士・税理士・中小企業診断士等、有資格の専門家から指導等を受けている	618	43.8%
フランチャイズ、経営コンサルティング会社等の外部法人から指導等を受けている	158	11.2%
特に指導等は受けていない	216	15.3%
その他	31	2.2%
計	1,410	





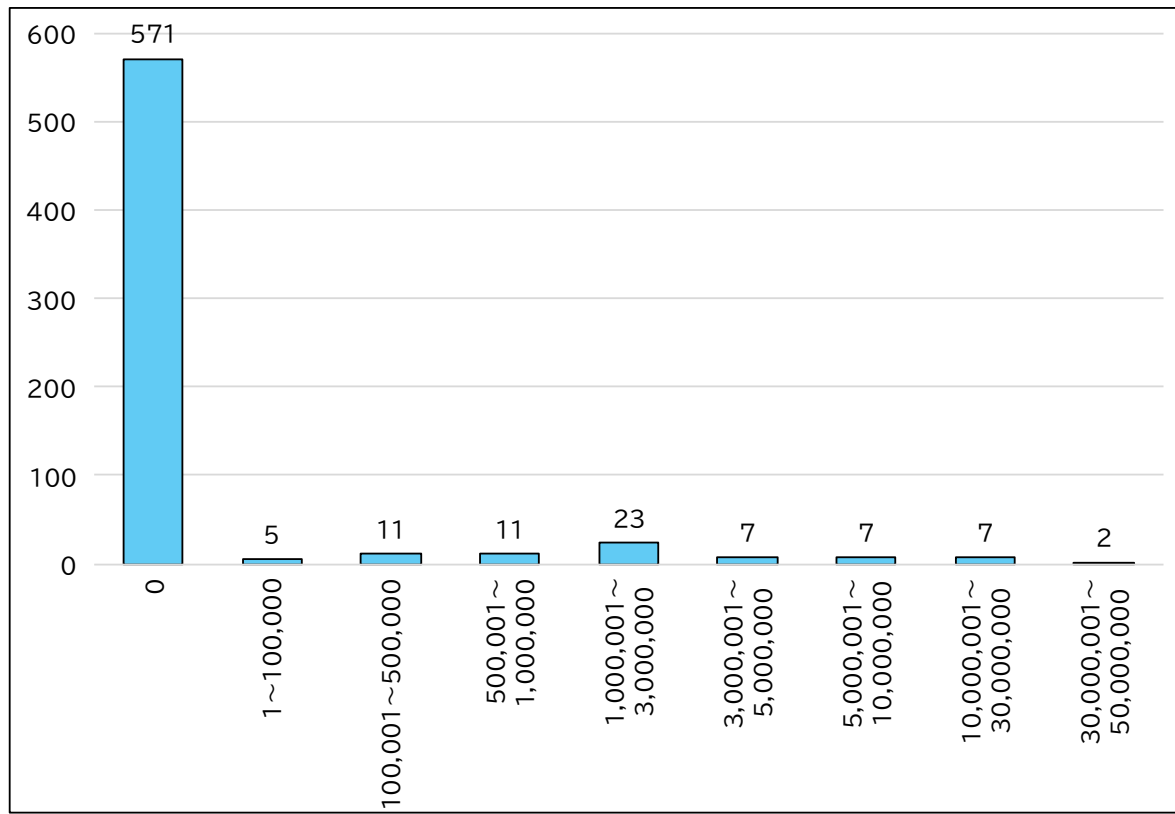
# Q40. 「工賃変動積立金」の積立額

(積立金が無い場合は0、わからない場合は下段にチェックを入れてください)

- ほとんど積み立てはない

Q40. 「工賃変動積立金」の積立額

範囲	件数
0	571
1~100,000	5
100,001~500,000	11
500,001~1,000,000	11
1,000,001~3,000,000	23
3,000,001~5,000,000	7
5,000,001~10,000,000	7
10,000,001~30,000,000	7
30,000,001~50,000,000	2
50,000,001~	0



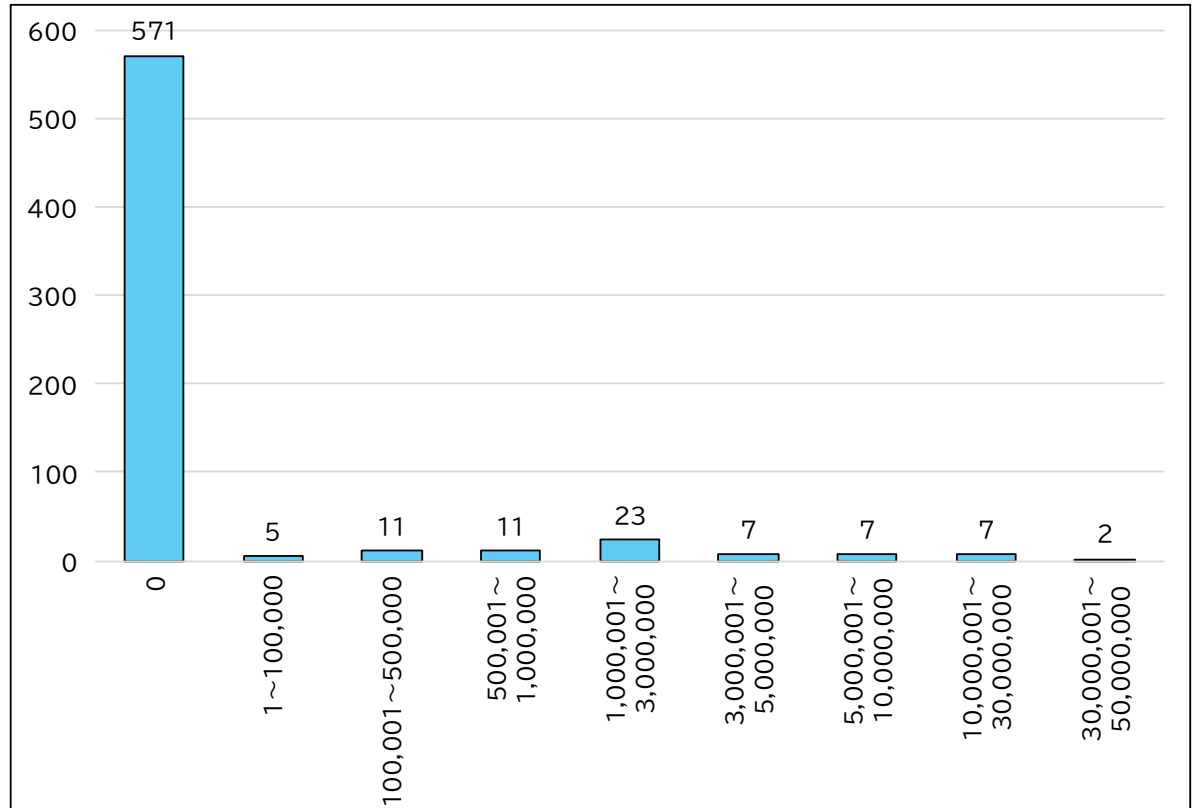
# Q41. 「設備等整備積立金」の積立額

(積立金が無い場合は0、わからない場合は下段にチェックを入れてください)

● 571件なし

Q41. 「設備等整備積立金」の積立額

範囲	件数
0	558
1~100,000	2
100,001~500,000	9
500,001~1,000,000	8
1,000,001~3,000,000	10
3,000,001~5,000,000	10
5,000,001~10,000,000	10
10,000,001~30,000,000	10
30,000,001~50,000,000	5
50,000,001~100,000,000	3
100,000,001~	1

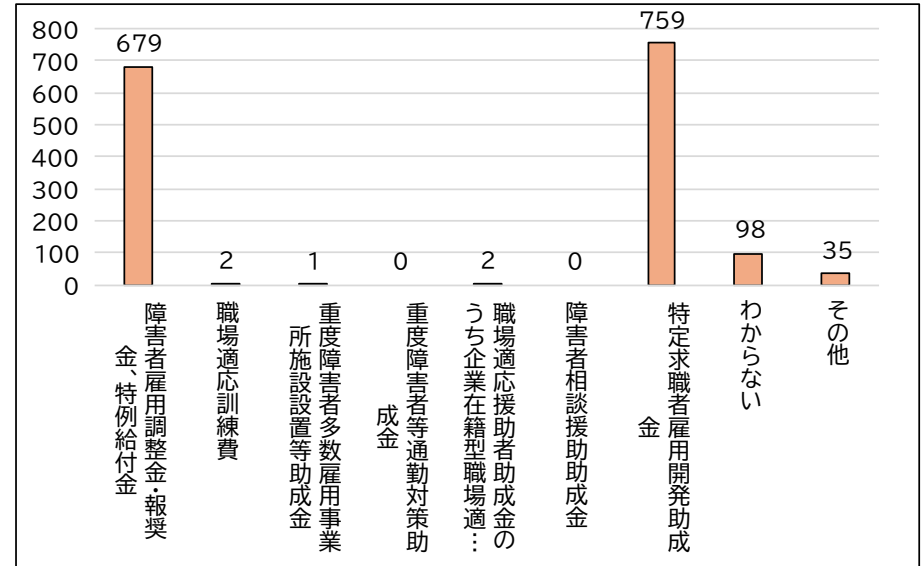


# Q42. 次の各種雇用関係助成金等のうち、貴事業所が令和5年度に受給したものがあれば、お答えください。

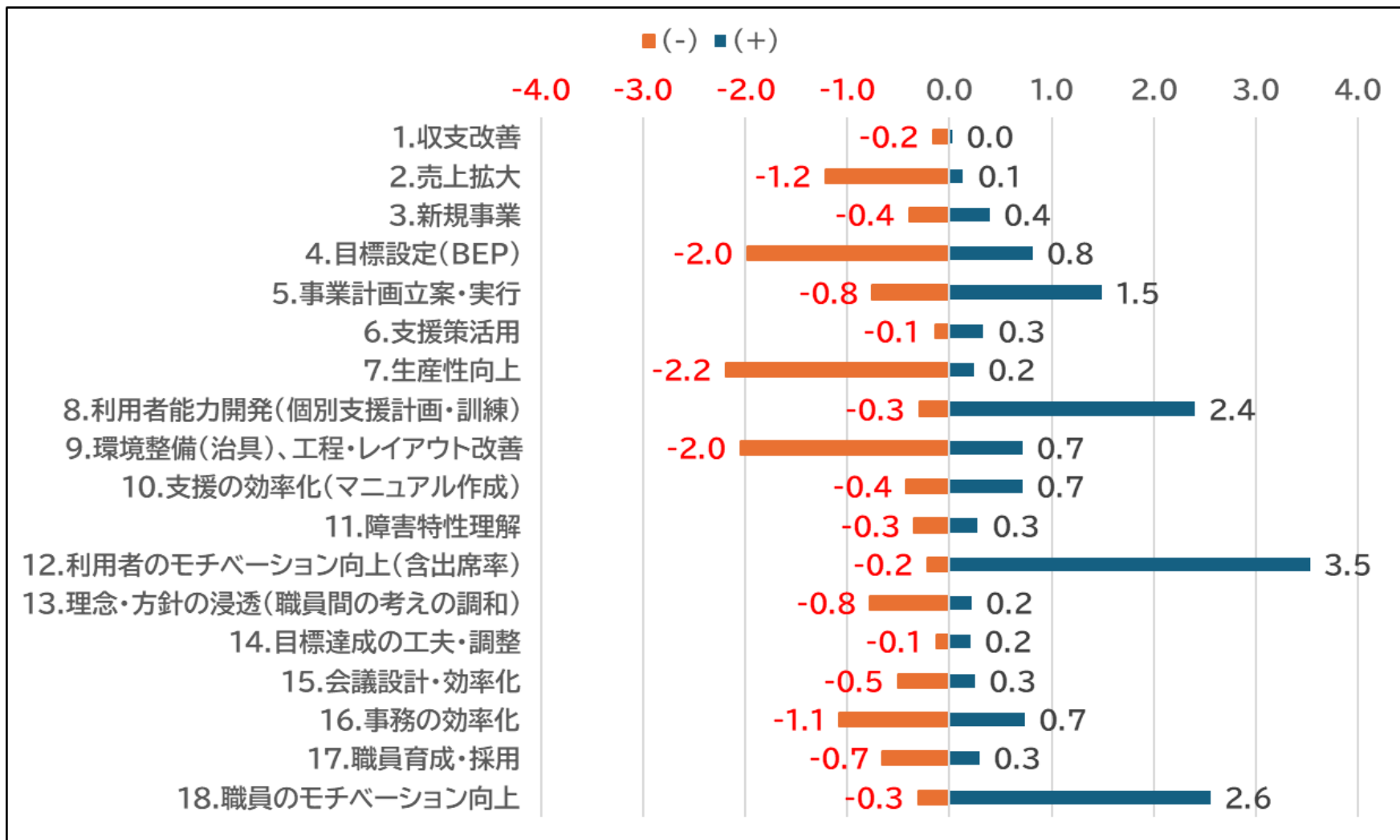
## ● 特開金759件(53.8%)、調整金679件(48.2%)

Q42. 次の各種雇用関係助成金等のうち、貴事業所が令和5年度に受給したものがあれば、お答えください。

回答	全体	
	件数	構成比
障害者雇用調整金・報奨金、特例給付金	679	48.2%
職場適応訓練費	2	0.1%
重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金	1	0.1%
重度障害者等通勤対策助成金	0	0.0%
職場適応援助者助成金のうち企業在籍型 職場適応援助者助成金	2	0.1%
障害者相談援助助成金	0	0.0%
特定求職者雇用開発助成金	759	53.8%
わからない	98	7.0%
その他	35	2.5%
計	1,410	



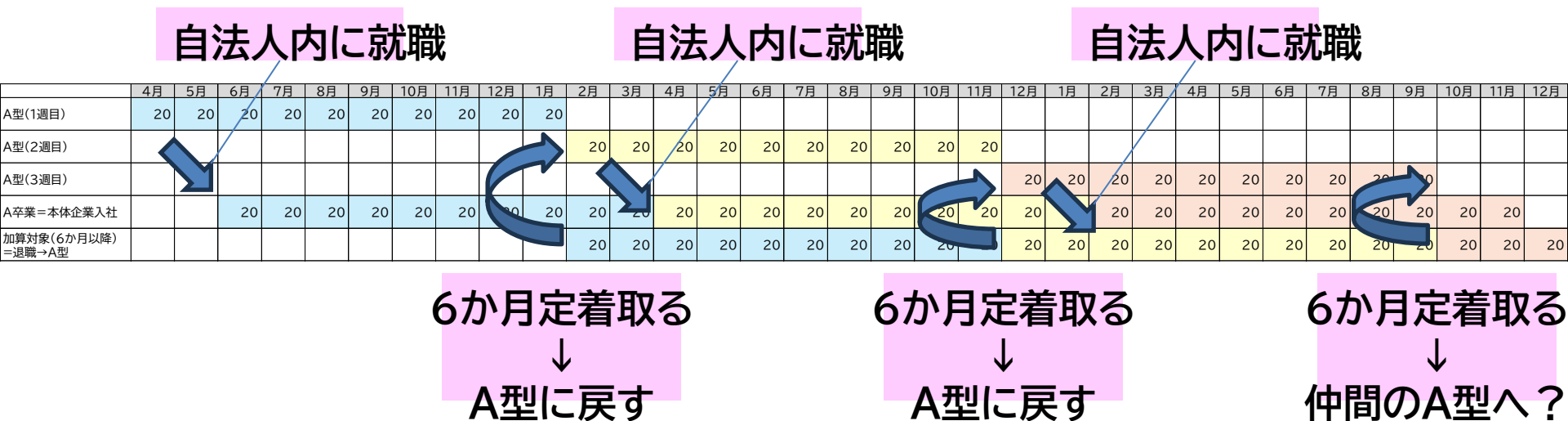
# Q43~45.事業所の運営方針として、各項目について、どの程度重視(注力)していますか。



# とあるA型の話 ～法人内障害者ロンダリング～



- ある関係者を通じて、元利用者の介護給付費・訓練等給付費等明細書(確認リスト)を入手
- 就労A就労移行支援体制加算が、約19,000単位→R5年度で約200人の定着支援を実現していることにより→訓練等給付で791単位+移行支援体制加算+賃金向上達成指導員配置加算+福祉専門職配置加算で約20,000単位を獲得
- 20千単位=200千円/人日×20人×22営業日=88百万円の訓練等給付(処遇改善等も足すと96百万円程度)
- 実態:A型を1~2か月利用させ、卒業させて、自法人に就職させる  
→加算が付く6か月以上の定着を終えたら、利用者と相談の上、A型に戻す



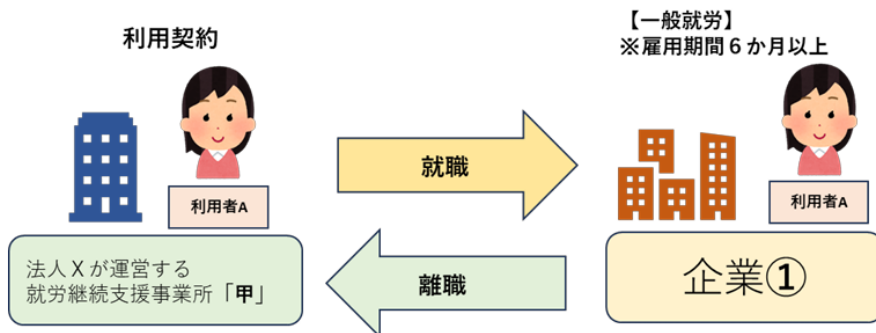
## とあるA型の話 ～法人内障害者ロンダリング～

- 賃金:200人程度の障害者をA型or自法人で抱え、A⇔自法人を行き来させることで、就労移行支援体制加算を取得(200人程定着させている計算)  
→200人分=1,200円/h×6h×200人×22営業日=31百万円程度の賃金払えばOK  
→支援者人件費・経費10百万円としても、約50百万円/月の利益が残る計算
  - なお、スコアは175点(生産活動収支もプラス)
  - 利用者はA型・自法人どちらの所属でも、半年に50円ずつ賃金を上げていく(=利用者からしたら、どちら所属でも賃金が上がり続ける)
- <作業実態>
- 作業内容はA型と同じ、同じ場所でA型と障害者雇用が混在
  - 作業室20人程度いるが、毎日人が変わっている状態(登録は相当多いと予測(200人以上?))
  - 週1ほどは事務所に行くが、あとは在宅か休み

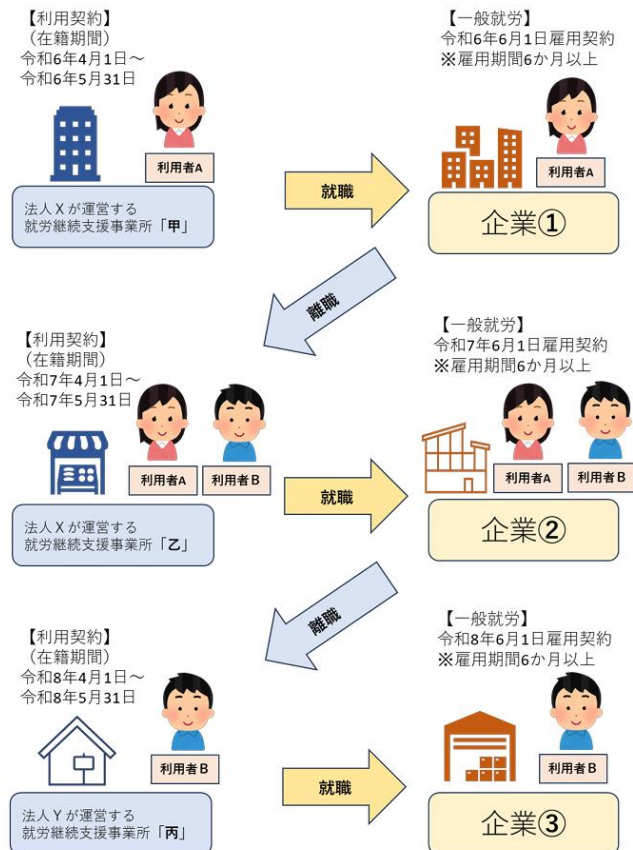
# 【ご参考】令和6年度 Q&A(vol.7)

- ロンダリング禁止
- 同一の利用者について過去3か年において当該加算(=就労移行支援体制加算)を複数回算定することは原則想定しておらず、例えば下記のようなケースでは、就労移行支援体制加算を複数回算定することができない。

## 【例1】 離転職を繰り返すケース



## 【例2】 複数事業所及び企業間の離転職を 計画的に繰り返すケース



<資料> 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定等に関するQ&A VOL.7(R7.1.24)厚生労働省

## 会計書類による取締り強化策(粗案)

- 不正のほとんどは、訓練等給付を生産活動収入に入れていること  
→「訓練等給付を生産活動収入に入れない」ということを注意書きで明記  
→決算書で法人格に関わらず、訓練等給付と生産活動収入を分けることを明記
- 関連会社・仲間会社等、および自社内からの架空売上を除去  
→主な収入の明細として、企業名ならびに役員名を記載  
→自社内からの売上の場合、割合で判断

項目	金額
①生産活動収入	円
②生産活動支出	円
③うち工賃・賃金	円
④生産活動収支	円

① 売上高	(構成 比)	法人名	子会社・ 関係会社	代表 取締役	全役員 名
円	%		<input type="checkbox"/>		
円	%		<input type="checkbox"/>		
円	%		<input type="checkbox"/>		

- ①－②③<0(赤字)の場合、経営改善計画提出  
(Bも提出義務化)  
※事業活動明細書でもいいが、細かすぎるので、  
上記簡易表だけでもOK



# 利用者の能力を伸ばす具体的な方法 ～作業アセスメント表～

【14高級ライン・プランター植え込み】総合難易度★★★★★

【評価対象者】Jさん

【評価日】2018/11/27

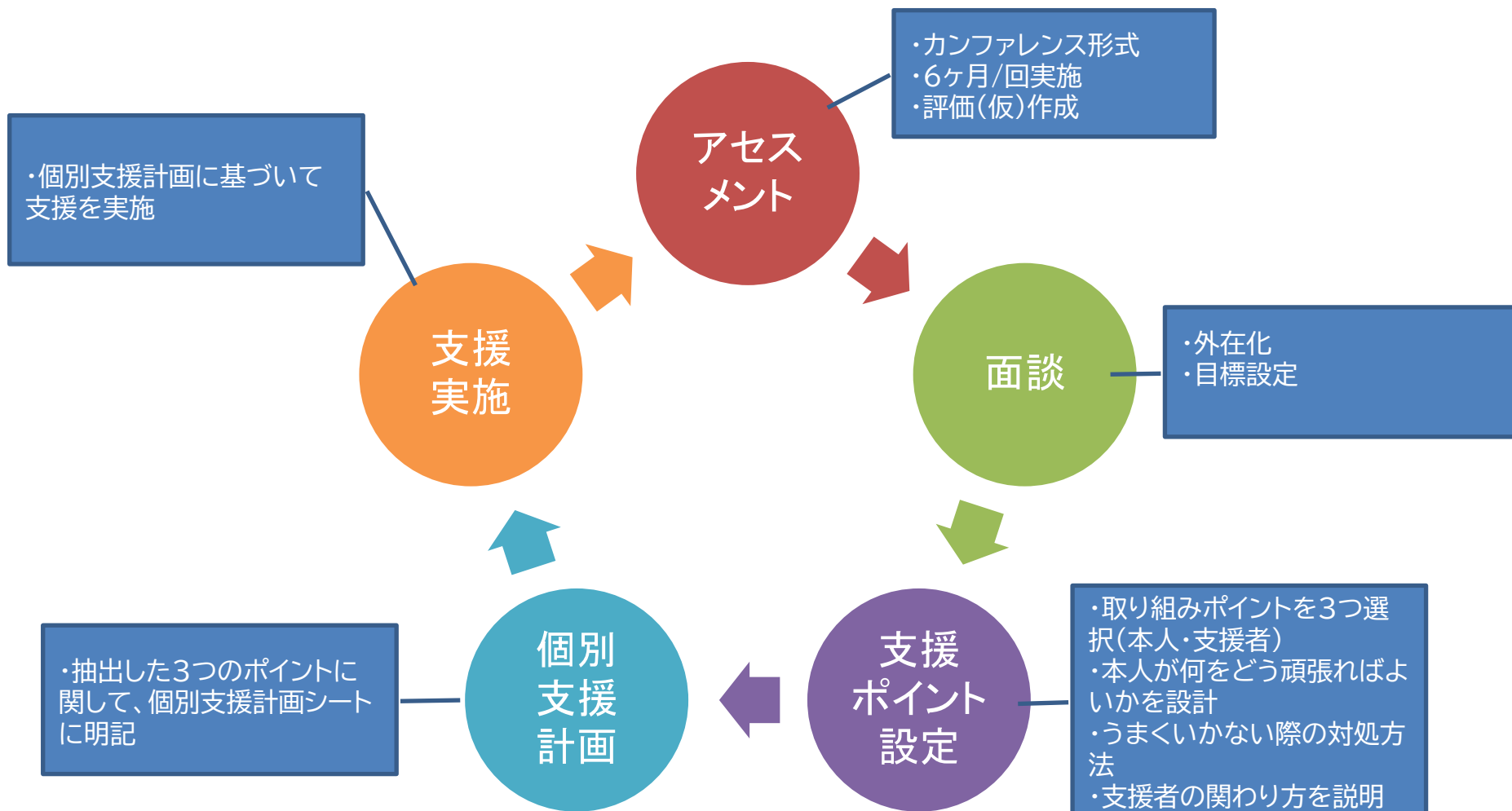
No.	工程	要素作業 (秒水準)	必要能力 (任せられる／られない)	H30下期 強化項目	評価基準				備考
					できない	支援があればできる	たまにミスがある	一人でできる	
1	準備	道具を用意する	道具の名前が分かる		1	2	3	4	
2		花苗の用意をする	花の名前と花苗が分かる		1	2	3	4	
3			花苗の置き場所が分かる		1	2	3	4	
4		良い花苗を選ぶ	株の大きさが分かる	○	1	2	3	4	見本の設置
5			株に対する花のバランスが分かる	○	1	2	3	4	見本を使って教える
6	植え込み	見本通り花苗をセットする	数が数えられる		1	2	3	4	
7			見本通りの間隔でセットできる		1	2	3	4	
8			花苗の植える向きが分かる		1	2	3	4	
9			花苗を丁寧に扱える(高級花)		1	2	3	4	
10		見本通りに花苗を植え込む	土の量が分かる		1	2	3	4	
11			花苗を抑えながら土を入れられる		1	2	3	4	
12			花の特性が分かる(根をいじる、土をかけ過ぎない等)		1	2	3	4	特性を教える
13			土を傾らすことができる		1	2	3	4	
14			バランスよく植え込むことができる		1	2	3	4	
15			見栄え良く植え込むことができる		1	2	3	4	
16		植えたプランターを運ぶ	重いものを持つことができる		1	2	3	4	
17			丁寧に持つことができる		1	2	3	4	
18		プランターを揃える	正面を揃えて並べることができる		1	2	3	4	
19			プランターの間隔を保つことができる		1	2	3	4	
#			数が数えられる		1	2	3	4	
21		水掛け	水を掛ける量が分かる		1	2	3	4	
#			掛ける水の強弱が分かる		1	2	3	4	
#	片付け	道具を元の場所に片付ける	片付ける場所が分かる		1	2	3	4	

## H30下期支援方針

・見本を設置して、見本通りにできるように支援する  
 →月曜日15分テストで選別の練習をする  
 →確率60→80/100を目指す

<資料: (株)インサイト研修資料>

# アセスメント→個別支援計画への落とし込み



<資料: (株)インサイト研修資料>